

Applied Writing Skills

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

The purpose of this class is provide opportunities to create English texts similar to those they will need in their everyday lives, either for work, leisure or international communication. In order to best make the content fit the interests of the class I aim to proceed by conducting a needs analysis which will form the basis of a negotiated syllabus.

【授業の展開計画】

Class activities could include the creation of an online and/or print magazine incorporating various forms of graphic design to present based on an aspect of Okinawan society and culture, (Please refer to <http://www.okinawasimpsons.com>) exchange of messages/opinions through social media, recounts of personal experiences and anecdotes, stories based on cards and picture sequences, essays based on topical issues, writing job applications in English, and preparation for students who intend to study abroad or write their graduation thesis in English.

【履修上の注意事項】

As it will probably be impossible to do all the above, priority will be based on students' perceived needs.

【評価方法】

Assessment will be based on class attendance, and participation, and successful completion of assignments. There will not be a test.

【テキスト】

No text book is required for this class.

【参考文献】

アメリカの社会と文化

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

This course is designed to assist students in learning about American society and culture and America's influence in the world. Extensive use will be made of audio visual materials depicting various aspects of American life.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction	17	Exam III
2	Chapter 1. Intro to American Soc & Cul	18	Chapter 8. The Dominant Culture
3	Chapter 2. Natural & Human Landscapes	19	(continued)
4	Exam I: Map Quiz	20	Chap. 9. Challenges to Dominant Culture
5	Chapter 3. Native Peoples of N. America	21	Malcolm X (film)
6	Pocahontas (film)	22	Chap. 10. Slavery and African Americans
7	Chapter 4. Europeans Arrive in N. Am.	23	Amistad (film)
8	Dances with Wolves (film)	24	Slavery & African Americans (continued)
9	Chap. 5. Expansion across the Continent	25	Exam IV
10	(continued)	26	Chapter 11. American Religious Cultures
11	Exam II	27	30 Days: Muslims & America (film)
12	Chapter 6. Expansion around the World	28	Chap 12. Queer Nation: Gay Soc. and Cul.
13	(continued)	29	30 Days: Straight Man - Gay World (film)
14	Born on the Fourth of July (film)	30	Chapter 13. American Car Culture
15	Chapter 7. Military Culture, Guns & War	31	Exam V
16	Bowling for Columbine (film)		

【履修上の注意事項】

Students should note that this class will be conducted primarily in English.

【評価方法】

Students will be evaluated based on attendance, class participation and written exams. The written exams will consist of comprehension questions based on the textbook and essays based on issues discussed in class, from the textbook and from films. One makeup exam will be allowed.

【テキスト】

The text for this class will be available from the instructor.

【参考文献】

アメリカ文学史

担当教員 加瀬 保子

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

アメリカ文学の初期から現代までの主要作品の一部を歴史、社会背景を考慮しながら読み、作品のテーマ、作家のバックグラウンド、文学のジャンル、スタイルを理解する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	イントロダクションとシラバス	17	女性文学 II
2	ネイティブアメリカンの文学 I	18	リアリズム・ナチュラリズムI
3	ネイティブアメリカンの文学 II	19	リアリズム・ナチュラリズムII
4	植民地文学 I	20	ロスト・ジェネレーション
5	植民地文学 II	21	モダニズムなど
6	ピューリタン文学 I	22	アメリカ南部文学 I
7	ピューリタン文学 II	23	アメリカ南部文学 II
8	フロンティア文学 I	24	ポストモダニズム I
9	フロンティア文学 II	25	ポストモダニズム II
10	ロマンティシズム I	26	市民権運動とアメリカ文学 I
11	ロマンティシズム II	27	市民権運動とアメリカ文学 II
12	奴隷制と文学 I	28	グループ発表とディスカッション
13	奴隷制と文学 II	29	グループ発表とディスカッション
14	レビュー	30	グループ発表とディスカッション
15	中間試験	31	期末試験
16	女性文学 I		

【履修上の注意事項】

予習を十分して授業に臨むこと。授業中のディスカッションも評価対象になるので積極的に参加すること。授業進度によっては授業の展開計画を変更することもあるので、欠席した場合はインストラクターかクラスメイトに次のクイズの範囲の確認をすること。クイズは授業の最初に行い、欠席した場合でも再試験は行わない。授業に15分以上遅れたものは教室には入室させない。この場合欠席扱いとなるので注意すること。

【評価方法】

出席・授業参加	20%
クイズの成績	20%
グループ発表	20%
中間試験	20%
期末試験	20%

【テキスト】

インストラクターがプリント教材を用意する。

【参考文献】

特になし

イギリスの社会と文化

担当教員 ヒーター シブソン

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

This class is intended to give students an opportunity to explore contemporary issues in British culture and society and reflect upon their relevance to contemporary societies elsewhere, particularly Okinawa and Japan.

【授業の展開計画】

In collaboration with the teacher, students will be expected to produce a bilingual group project and a final individual report (in English) focusing on an area of their choice.

A number of themes will be proposed, but these are highly negotiable.

【履修上の注意事項】

* For scheduling reasons, I would like to advise students who are taking this class not to register for 英語圏社会文化特殊講義.

* Communication of ideas will take precedence over medium of communication.

【評価方法】

Assessment will be based on the following:

* assignments relating to course content

* attendance and participation

【テキスト】

No textbook is prescribed for this course.

【参考文献】

イギリス文学史

担当教員 西原 幹子

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講では、イギリスの代表的な作家とその作品について、時代順に解説していきます。時代ごとの歴史的、文化的特徴や、各作家の作品の特徴について学び、文学史の全体的な流れを掴むことを目指します。

【授業の展開計画】

- 1週目：講義説明
- 2週目：中世
- 3～5週目：ルネッサンス
- 6週目：17世紀初期
- 7週目：王政復古期
- 8～9週目：18世紀
- 10週目：ロマン派
- 11～13週目：ヴィクトリア朝
- 14～15週目：20世紀
- 16週目：学期末試験

【履修上の注意事項】

【評価方法】

レポート課題（40%）、学期末試験（60%）

【テキスト】

初回の授業で指示します

【参考文献】

- 『イギリス文学史入門』川崎寿彦著（研究社）
- 『イギリス文学史概説』三ツ星堅三著（創元社）

異文化理解 I

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義では、自分とは異なる文化を持つ様々な人たちのライフスタイルや価値観などを認識させ、異文化への気づきを促すこと及び異文化に対する理解能力を高めることを目指す。日本人と外国人の生活や文化などの相違に気づかせるクイズ、グループワーク、映画鑑賞、調査発表などを通して異文化社会の多様性と現実を学ぶ。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション
2	文化から異文化へ
3	外国人が感じる日本の「ふしぎ」
4	英語で遊ぼう
5	アメリカ人の知らない英語
6	外国人のユーモア
7	知っておきたい英語の知識
8	英語の「構え」でコミュニケーション
9	学生発表・評価（1）
10	学生発表・評価（2）
11	学生発表・評価（3）
12	学生発表・評価（4）
13	学生発表・評価（5）
14	学生発表・評価（6）
15	学生発表・評価（7）
16	学生発表・評価（8）

【履修上の注意事項】

特になし。

【評価方法】

出席率及び授業参加態度(50%)、プロジェクト及び口頭発表(50%)により総合的に評価する。

【テキスト】

配布資料

【参考文献】

講義開始時に指示する。

異文化理解Ⅱ

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期の「異文化理解Ⅰ」に続き、本講義では、自分とは異なる文化を持つ様々な人たちのライフスタイルや価値観などを認識させ、異文化への気づきを促すこと及び異文化に対する理解能力を高めることを目指す。日本人と外国人の生活や文化などの相違に気づかせるクイズ、グループディスカッション、スタディ・ジャーナル、映画鑑賞、調査発表などを通して異文化社会のライフスタイルの多様性と現実を学ぶ。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	前期の反省、オリエンテーション
2	調査テーマを探そう！
3	生活文化から生じるコミュニケーション・ギャップ
4	異文化間に生じる諸問題を考えよう！（1）
5	異文化間に生じる諸問題を考えよう！（2）
6	異文化間に生じる諸問題を考えよう！（3）
7	異文化間に生じる諸問題を考えよう！（4）
8	異文化間に生じる諸問題を考えよう！（5）
9	異文化間に生じる諸問題を考えよう！（6）
10	学生発表・評価・Q&A（1）
11	学生発表・評価・Q&A（2）
12	学生発表・評価・Q&A（3）
13	学生発表・評価・Q&A（4）
14	学生発表・評価・Q&A（5）
15	学生発表・評価・Q&A（6）
16	学生発表・評価・Q&A（7）

【履修上の注意事項】

期限厳守。

【評価方法】

出席率及び授業参加態度(50%)、プロジェクト及び口頭発表(50%)により総合的に評価する。

【テキスト】

配布資料

【参考文献】

講義開始時に指示する。

English Grammar I

担当教員 前澤 大樹

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

この授業では、高校までで学んできた英語の基本的文法事項を改めて整理・復習し、演習問題を通して確実な定着を目指す。合わせて、それらの文法事項が用いられている短文の読解にも取り組むことで、学んだ知識を英語使用に結び付け実践的に活用できるものとするよう努める。単に問題への解答を求めるだけでなく、文法的な説明そのものを問う場合もある。それぞれの事項についてきちんと理解できているか再点検し、十分な習熟を図る機会として欲しい。また、英文法の全体像が見通しにくくなる点を補うため、教科書で各項目を詳しく見る間に、配布資料を用いて概説を行う回を設けるものとする。

【授業の展開計画】

*進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、導入	17	Unit 11: Auxiliary Verbs
2	英文の基本的構成(1)	18	Unit 12: Phrasal Verbs
3	Unit 1: Verbs 1 (述語動詞)	19	英文の基本的構成(4)
4	Unit 2: Verbs 2 (不定詞・動名詞)	20	Unit 13: Conjunctions 1 (接続詞の基本)
5	Unit 3: Verbs 3 (分詞)	21	Unit 14: Conjunctions 2 (相関接続詞等)
6	Unit 4: Nouns 1 (可算・不可算)	22	Unit 15: Comparisons
7	Unit 5: Nouns 2 (代名詞)	23	Extra 3: Paragraphs
8	英文の基本的構成(2)	24	Unit 16: Tenses 1 (現在と過去)
9	Extra 1: Using a Dictionary	25	英文の基本的構成(5)
10	Unit 6: Adjectives	26	Unit 17: Present Perfect & Future
11	Unit 7: Articles	27	Unit 18: Active Voice and Passive Voice
12	Unit 8: Adverbs	28	Unit 19: Tenses 2 (時制と文法的相)
13	英文の基本的構成(3)	29	Unit 20: Conditionals & Subjunctives
14	Unit 9: Prepositions 1 (基本的用法)	30	Extra 4: Pronunciation and Stress
15	Unit 10: Prepositions 2 (発展的用法)	31	期末試験
16	Extra 2: Word Formation		

【履修上の注意事項】

- 辞書は毎回必ず持参すること。語の意味を調べるだけでなく、文法的性質を確認するためにも辞書は必須である。
- 各文法事項の復習・定着を第一目標とするが、基本知識は既習のはずなので、発展的な内容にも度々触れていきたい。余裕があれば疑問点を質問する等、積極的に進んだ学習に努めて欲しい。

【評価方法】

- (1) 期末試験: 30% (2) 小テスト(3回程度実施予定): 計30% (3) 授業中の演習問題・質問への解答: 30% (4) 平常点(受講態度、学習に有益な発言・質問等): 10%
の配分で得点を計算し、評価を決定する。
但し、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。

【テキスト】

Takemae, Fumio et al. (2007) Basic College English Seminar (新しく始める大学英語演習), 南雲堂。

【参考文献】

English Grammar I

担当教員 里 麻奈美

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

英語を話せるようになるには『文法』がとても重要な役割を果たします。これまで学習してきた文法事項を復習しながら、より『生きた英語』を身につける事を目標とします。このクラスが『文法嫌い』ではなくなるきっかけになれば幸いです。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

講義内で適宜配布する。
テキストの購入なし。

【参考文献】

English Grammar I

担当教員 宮城 和文

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

テキスト『基本文型から学ぶ大学英語(Make It Clear-Grammar Learning for Beginners and Intermediates)』(朝日出版)を主教材として用い、日常起こりうる会話場面に応用できるよう英文法の基礎知識を身につけていく。ペアまたはグループによる課題スキットの暗唱・発表を行い、学んだ文法知識を実際の対話に活かすことができるようになる。

【授業の展開計画】

受講生の学習状況および学習内容の理解度に応じ、下記計画に変更が生じる場合があります。詳細については、開講日に説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Week 1: Course Orientation, Unit01 Sentence Elements, Parts of Speech
2	Week 2: Unit02 Introducing Basic Sentence Patterns
3	Week 3: Unit03 S+V, Verbs
4	Week 4: Unit04 Verbs
5	Week 5: Unit05 S+V+C, Adjectives
6	Week 6: Unit06 Nouns
7	Week 7: Unit07 S+V+O, Verbs
8	Week 8: Midterm Examination / Unit08 Pronouns
9	Week 9: Unit09 S+V+O+O, Verbs, Adjectives
10	Week10: Unit10 S+V+O+C, Adverbs
11	Week11: Unit11 Articles
12	Week12: Unit12 Prepositions
13	Week13: Unit13 Conjunctions
14	Week14: Unit14 Relative Clauses
15	Week15: Unit15 Helping Verbs
16	Week16: Final Examination

【履修上の注意事項】

- 各自「単語ノート」を作成しますので、学習ノートを一冊準備してください。
- 3分の1を超える欠席がある者は学則により「不可」となります。
- 遅刻, 居眠, 理由不明の離席, 私語, 飲食または携帯電話・メールの受送信行為は、厳に慎しむこと。減点対象となります。なお遅刻3回で欠席1とみなします。
- 開講日に詳細を説明しますので、正当な理由なしに初回講義を欠席することがないようにしてください。

【評価方法】

- Midterm/Final Examinations 40%
- Review Quizzes 30%
- Vocabulary Notebook 20%
- In-class Contributions 10%

【テキスト】

『基本文型から学ぶ大学英語:Make It Clear-Grammar Learning for Beginners and Intermediates』朝日出版。朝野書房にて販売しています。全受講生必携です。

【参考文献】

講義の中で適時紹介します。

English Grammar II

担当教員 前澤 大樹

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

この授業では、受講者がこれまで学んできたであろう基礎的文法知識を土台として、英語で書かれた“名文”を読み進めながら関連する語法・文法問題に取り組むことで、英文法に対する理解を更に深めるとともに、実際の読解に於いてそれらの知識を活用し、文意を正確かつ十分に把握する力を養うことを目的とする。付属の設問への解答は、当該の語法・文法事項について「他の受講者に説明する」形で行うものとし、誤りや不足がある場合は講師から適宜訂正・補足を行う。また設問の他に、その場で一文和訳等を求める場合もある。

【授業の展開計画】

*進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施手順を含め予定を変更する場合がある。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、導入	17	第4部 16. 二十年後
2	第1部 1. 侍のロマン	18	第4部 17. 雪女
3	第1部 2. 行動の規範	19	第4部 18. 孤独
4	第1部 3. 西郷隆盛、～	20	第3部 13. 経済学の領域と方法
5	第3部 10. 日本国憲法前文	21	第5部 22. 偉大なる発見
6	第5部 19. 科学を通して見る世界1	22	第6部 25. 日英語の鏡像関係
7	第1部 4. サンタクロースは～	23	第6部 26. 言語の持つ性質
8	第2部 5. もし3日間だけ目が見えたら	24	第6部 27. 言語とは何か
9	第2部 6. 物を忘れる方法	25	第3部 14. スポーツと競争心
10	第3部 11. ゲティスバーグ演説	26	第5部 23. ろうそくの科学
11	第5部 20. 科学を通して見る世界2	27	第6部 28. 言語と種の類似性
12	第2部 7. 私の人生の物語	28	第3部 15. 思想の自由
13	第2部 8. 読書論	29	第5部 24. 科学概論
14	第2部 9. 独立独行	30	第7部収録の文章よりいずれか1つ
15	第3部 12. ケネディ大統領就任演説	31	期末試験
16	第5部 21. 常識と科学の違い		

【履修上の注意事項】

(1)辞書は毎回必ず持参すること。語の意味を調べるだけでなく、文法的性質を確認するためにも辞書は必須である。(2)授業に臨んでは、該当範囲の予習を必ず行って欲しい。具体的には、文章は文法的な説明ができる程度にしっかり検討・理解し、設問の全てに取り組んでおくことを求めたい。(3)予習した上で、解らなかった箇所や疑問点を整理しておき、授業は確認と質問の場として積極的に利用して貰うのが最も効果的である。

【評価方法】

(1) 期末試験: 40% (2) 教科書付属の設問・その他の問題への解答(小テスト等を実施した場合はここに含める): 50% (4) 平常点(受講態度、学習に有益な発言・質問等): 10%

の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。

【テキスト】

野村忠央, 他 (2009) 『新版 一度は読んでおきたい名文から学ぶ総合英語』, DTP出版。

【参考文献】

English Grammar II

担当教員 西原 幹子

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講では、English Grammar I で学んだ基礎知識をもとに、さらに複雑な表現ができるようになることを目指します。授業では、英文法に関する練習問題を数多くこなすことにより、応用力を身に付けていきます。

【授業の展開計画】

プリント教材を用い、毎回一項目ずつ進みます。知識の定着をはかるために、月一回のペースで確認小テストを行います。あわせて、長文や複雑な英文を読む訓練も適宜行う予定です。

【履修上の注意事項】

【評価方法】

学期末テスト（90%）、課題および小テスト（10%）の結果で評価します。

【テキスト】

プリントを配布します。

【参考文献】

『英文法解説』江川泰一郎著、金子書房

English Grammar II

担当教員 仲里 和花

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

English for Special Purposes

担当教員 ーロビソソ ーサイソ

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

In this course the students will begin to develop the ability to give their opinions and then debate that opinion with their classmates. They will also develop critical thinking skills and consider issues of social importance in the world around them.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introducing Presentation Skills	17	Agree and Disagree Points
2	Self-introduction Presentations	18	Debate
3	Introducing Opinion Presentations	19	Student Opinions - Group 4 Presentations
4	Introducing Debate	20	Hot Seat - talking about the topic
5	Introducing Debate Pt2	21	Agree and Disagree Points
6	Finding Opinions	22	Debate
7	Student Opinions - Group 1 presentations	23	Student Opinions - Group 5 Presentations
8	Hot Seat - talking about the topic	24	Hot Seat - talking about the topic
9	Agree and Disagree Points	25	Agree and Disagree Points
10	Debate	26	Debate
11	Student Opinions - Group 2 Presentations	27	Exam Preparation 1 - choosing a topic
12	Hot Seat - talking about the topic	28	Exam Preparation 2 - agree and disagree
13	Agree and Disagree Points	29	Exam Preparation 3 - pair practice
14	Debate	30	Exam Day 1 (groups 1-3)
15	Student Opinions - Group 3 Presentations	31	Exam Day 2 (groups 4-5)
16	Hot Seat - talking about the topic		

【履修上の注意事項】

Students will need to spend time preparing and practicing their 'Opinion' presentations and will need to research the debate topics in preparation for the 'Debate' lessons

【評価方法】

Students will be assessed based on their attendance, participation in class activities, group presentations, and a final exam where they will debate with me.

【テキスト】

There is no textbook for this course

【参考文献】

English for Special Purposes

担当教員 -東恩納 ミシェル

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

Description: This course is designed to help students gain skills in self-expression in English. Students will learn the language of discussion and debate, gain presentation skills, and develop critical thinking skills. Timely topics will be discussed related to personal and social issues. These will include such topics as: technology, personal relationships, global issues, careers, international relations, use of force to resolve international conflicts, and family issues.

【授業の展開計画】

Please note: As this is an oral ENGLISH class your instructor will speak only English during the class period. Please use English as much as possible in class. Please do not chat with your conversation partners in Japanese during the class period. Expect to spend several hours OUTSIDE of class time preparing for your presentations and final interview.

週	授 業 の 内 容
1	Introduction to language of discussion
2	Introduction to language of discussion
3	topic selection
4	topic 1
5	topic 2
6	topic 3
7	speech preparation
8	speech presentations
9	topic 4
10	topic 5
11	topic 6
12	debate / discussion preparation
13	debate / discussion presentations
14	topic 7
15	Final interview preparation
16	Final interview presentations

【履修上の注意事項】

All notes for class will be taken by students provided orally by instructor.

【評価方法】

1. Persuasive Speech 20%, 2. Debate/ Discussion 20% 3. Final interview 30%, 4. Daily attendance and participation 30% If you are absent 10 times you cannot pass this course. Being late to class three times equals one absence. If you are absent on your assigned presentation day, 10% per class will be subtracted from your presentation score.

【テキスト】

Impact Issues 3 - 20 stimulating issues for discussion and debate in English
Pearson Longman
ISBN 978-962-01-9932-5

【参考文献】

Students should bring an electronic or paper Japanese/English dictionary. Smartphone dictionaries can be used with permission.

English Reading I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

English Reading I

担当教員 松田 節子

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

この授業では精読と概要把握のふたつの読み方を身につけることを大きな目標とする。題材は時事英語、比較文化、名スピーチ、沖縄の社会文化など幅広い分野のものを扱う予定である。授業では文法、表現、背景的知識などを詳しく見ながら正確な内容理解に努めるとともに、それぞれの題材について自分なりに考え、英語で意見、疑問、感想などを述べる練習をする。

【授業の展開計画】

授業開始時にシラバスを配布する。

【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) 電子辞書を持ってくること
- (3) シラバスに基づき、必ず予習をして授業に臨むこと（予習には音読を含む）
- (4) 私語、居眠りをしないこと
- (5) 教室では携帯電話等の電源を切ること

【評価方法】

出席、課題・提出物、授業態度、授業への貢献度、テストの結果など総合的に評価する。

【テキスト】

選定中

【参考文献】

適宜配布する。

English Reading I

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

精読と多読を通して語彙力と読解力の強化を図ります。

【授業の展開計画】

授業前半は様々なパッセージの精読、後半は多読を行います。

【履修上の注意事項】

- (1) 無断欠席、遅刻をしない
(遅刻 2 回で欠席 1 回とみなします。1/3以上欠席の場合単位は認められません。)
- (2) グループごとに座る
- (3) 辞書持参

【評価方法】

授業態度（出席率、積極性、発言）、クイズ、提出物を総合的に評価します。

【テキスト】

授業の中で連絡します。

【参考文献】

English Reading II

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

English Reading II

担当教員 松田 節子

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

この授業では前期のEnglish Reading Iに引き続き、精読と内容把握のふたつの読み方をさらに磨くとともに、多読にも挑戦する。題材は、比較文化、英米の言語文化、沖縄の社会文化など、幅広いものを扱う予定である。授業では文法、表現、背景的知識などにも目を向けながら、それぞれの題材について、要点、意見、疑問、感想などを英語で述べる練習をする。

【授業の展開計画】

授業開始時にシラバスを配布する。

【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) 電子辞書を持ってくること
- (3) シラバスに基づき、必ず予習をして授業に臨むこと（予習には音読を含む）
- (4) 私語、居眠りをしないこと
- (5) 授業中は携帯電話等の電源を切ること

【評価方法】

出席、宿題、授業態度、授業への貢献度、テストの結果などから総合的に評価する。

【テキスト】

授業開始時に指示する。

【参考文献】

適宜配布する。

English Reading II

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期に引き続き精読・多読・速読により語彙力、読解力を強化を図ります。

【授業の展開計画】

授業前半は、語彙力問題と様々なトピックの精読をペア・グループ単位で行い、授業後半は前期に引き続き個々のペースで多読を行います。

【履修上の注意事項】

- (1) 無断欠席、遅刻をしない
(遅刻 2 回で欠席 1 回とみなします。1/3 以上欠席の場合単位が認められません。)
- (2) 辞書持参
- (3) 指定の席に座る

【評価方法】

出席状況、クイズ、提出物（リーディングログ）を総合的に評価します。

【テキスト】

授業の中で連絡します。

【参考文献】

インターネット英語

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語音声学

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

This course combines theory and practice in articulatory phonetics with a focus on the basic concepts of English speech sounds.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	The Vocal Organs; Sound Classes
3	Consonants: Places of Articulation
4	Consonants: Manners of Articulation
5	Vowels: Articulation & Classification
6	The Transcription of English Vowels & Consonants
7	Consonant & Vowel Charts; Midterm Exam
8	The Syllable
9	Accent
10	Rhythm
11	Coarticulation & Other Phonological Processes
12	Intonation (1)
13	Intonation (2)
14	World Englishes (1)
15	World Englishes (2)
16	Final Exam

【履修上の注意事項】

No particular requirements.

【評価方法】

Attendance, Class Participation & Homework (50%). Mid-term & Final Exams (50%).

【テキスト】

To be announced in class.

【参考文献】

英語学概論

担当教員 新垣 實

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語学特殊講義

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義では、英語と日本語の言語現象を通して、言語使用に関するメカニズムを語用論的視点から学ぶことを目的とする。語用論の基礎を学び、発話者がどのように言葉を使っているか、またどんな時に誤解や不快感が生じるのかを分析する。更に、外国語学習や異文化理解への応用について考える。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション
2	言語学習 vs. 言語運用
3	語用論とは何か
4	発話行為
5	会話の含意
6	間接発話行為
7	ポライトネス理論
8	異文化間語用論 (1)
9	異文化間語用論 (2)
10	中間言語語用論 (1)
11	中間言語語用論 (2)
12	英語学習への応用 (1)
13	英語学習への応用 (2)
14	英語学習への応用 (3)
15	研究計画
16	口頭発表

【履修上の注意事項】

期限厳守。

【評価方法】

出席率及び授業参加態度 (50%)、口頭発表及びレポート (50%) により総合的に評価する。

【テキスト】

講義開始時に指示する。

【参考文献】

講義開始時に指示する。

英語教育学

担当教員 野口 正樹

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

本講義は、2年次後期履修の英語科教育法Ⅰの introduction になります（従って、英教法履修予定者は“原則”受講することが望ましいです）。英語科教育の現状を overview し、問題点を把握します。そして、今後目指すべき英語科教育の方向性を明らかにします。指定時間内に各 group が略式 presentation を行います。「わかる」段階に留まらず、「使える・説明できる」段階を模索します。残りの時間に授業者が例示や解説を行い、受講者の疑問に答えます。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・途中退出は一切認められません。正当な理由がある場合、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation (group 毎)
- ③ 個人・相互評価
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題テスト
- ⑥ および中間・期末試験
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ book report
- ⑧ project 学習

【テキスト】

講義内で連絡します。

【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

英語教育教材研究

担当教員 野口 正樹

対象学年 3年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

本講義は、英教法Ⅰの実践編及び英教法Ⅱの補足編になります。従って、英教法履修者は、“原則”履修することが望ましいです。文部科学省検定中学・高校教科書を取り上げ、抽出した各 section/lesson の題材を分析し、理想的な教材を作成します。flash/picture cards の作り方、target sentences の導入・理解・運用を目指す各種活動、復習・定着・まとめの ideas、黒板・教室の使い方、音楽・照明・PC・screen の活用等、教室内外のあらゆる素材を利用して、学習者の異文化コミュニケーション能力と心の豊かな人格の陶冶を図ります。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な事由がある場合は、事前に必ず mail 連絡ください。
- ③ 課題は、期限までに毎時完成させましょう。
- ④ 携帯電話は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation
- ③ 個人・相互評価
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ 教材作成
- ⑧ project 学習

【テキスト】

別途連絡します。

【参考文献】

別途連絡します。

英語教育特論

担当教員 未定

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 集中

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語圏社会文化特殊講義

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

This class is intended to give students an opportunity to explore and question issues relating to society and culture in parts of the world outside Britain and the United States where the English language serves some function.

【授業の展開計画】

In collaboration with the teacher, students will be expected to produce a bilingual group project and a final individual report (in English) focusing on an area of their choice.

A number of themes will be proposed, but these are highly negotiable.

【履修上の注意事項】

* Communication of ideas will take precedence over medium of communication.

【評価方法】

Assessment will be based on the following:

- * assignments relating to course content
- * attendance and participation

【テキスト】

No textbook is required for this class. Instead, students will be expected to find information from a variety of sources.

【参考文献】

英語情報処理 I

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

This is an introductory course in information processing for English majors. The language of instruction in this course is primarily English, and secondarily Japanese. Wherever possible, English language versions of software are used. In this course we will be introduced to Internet search techniques and strategies, spreadsheets, presentation techniques using PC software, databases, and word processing for academic and business purposes.

【授業の展開計画】

This course provides English major students with the fundamentals of:

- 1) computer hardware
- 2) operating systems and user interfaces
- 3) file systems
- 4) networking
- 5) eMail and social networking
- 6) spreadsheets
- 7) eLearning systems
- 8) Internet search techniques and strategies
- 9) Boolean operators and other search engine syntax
- 10) deep Internet searching and data mining
- 11) intellectual property and copyright
- 12) online language learning resources
- 13) word processing
- 14) digital correspondence in English
- 15) computer graphics

【履修上の注意事項】

LMSの登録と出席システムの登録は自己責任。登録をするまで欠席扱いになります。
Students who miss classes are responsible for getting their own lecture notes.

【評価方法】

Assignments: 40%
Mid-term exam: 30%
Final report: 30%

【テキスト】

大串夏身、文科系学生のインターネット検索術、青弓社、2001年

【参考文献】

Any good paper or electronic English-Japanese / Japanese-English dictionary.

英語情報処理 I

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

本講座は、キーボード練習によるブラインドタッチをマスターすることから始め、最終的には外資系企業など国際的環境の職場で実際に作成する英文書類を作成する能力を身につけることを目的とする。進め方は、実際の書類を教材に演習を行っていく。使用ソフトはMicrosoft WordやPowerPointが中心である。演習にあたっては、常に10本の指をフルに使ったブラインドタッチの基本を忘れないようにすることが大切である。単に与えられた教材を真似て作るだけでなく、全体のフォーマットや状況を考えながら、習得することが重要である。

【授業の展開計画】

1週目	講義内容の説明、導入
2週目	ブラインドタッチ演習・初級～中級
3週目	ブラインドタッチ演習・上級
4週目	入力速度測定
5週目	段組のある雑誌記事での入力演習
6週目	学級プロジェクトその1〈パワーポイント使用〉
7週目	学級プロジェクトその2〈パワーポイント使用〉
8週目	文書作成：ビジネスレター、英文履歴書
9週目	実地的ビジネスレターの作成
10週目	筆記体からのビジネスレターの作成
11週目	メモ書きを基にした実地的書類作成
12週目	和文英訳をしながらのレター作成
13週目	ワード機能をフルに使った演習
14週目	英文履歴書等の課題の仕上げ・印刷
15週目	期末試験
16週目	提出物・成績最終確認

【履修上の注意事項】

やむを得ず欠席する場合は、所定の欠席届を提出のこと。ただし、欠席届の理由が正当と認められない場合もある。病院や薬局の領収証の写しを提出した場合は「病欠」と認められる。顧問の教官の書面を提出したものについては、「公欠」と認められる。

【評価方法】

出席30%、入力速度測定10%、作成文書や宿題等の提出物50%、期末試験10%、その他+/-5%の配分で評価する。その他とは、授業への貢献度や態度などを含む。演習を中心の授業なので、評価の配分は試験より実践のほうがはるかに高い。学生には、とにかく毎回出席して、与えられた課題をこなし提出することが望まれる。課題提出に関して特に注意してほしいことは、提出期限から1日遅れるごとに1.5点マイナスされるので、遅れる場合でもできるだけ早く仕上げ提出することである。

【テキスト】

使用せず。毎回練習用プリントを配布し、説明の後演習を行う。

【参考文献】

英語情報処理 I

担当教員 真島 知秀

対象学年 1年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

本講義は、資料収集、まとめ、発表などに必要なパソコン操作の基本技能を習得することを目的に、Word, Excel, PowerPointを使って実践的な演習を行います。また課題をこなす中で英文のブラインドタッチのマスターおよび入力速度の向上も図ります。その他パソコンを使った総合的な演習を通じて、学生生活に必要な情報処理技術を身に付けます。

【授業の展開計画】

大学のパソコン入れ替えに伴うプログラム設置状況に応じてWordのバージョンを決定する。以下内容は大まかな概要であり、学習者のニーズや進み具合を見て適宜調整する。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	大学メールおよびシステムの活用
3	コンピュータの基礎：文字入力
4	コンピュータの基礎：フォルダ・ファイル
5	ネットワーク利用：インターネット利用
6	ネットワーク利用：インターネット上のファイルやソフトの利用
7	ネットワーク利用：メールの利用
8	ネットワーク利用：情報モラル
9	Word：基本操作
10	Word：書式設定基礎
11	Word：書式設定応用
12	Word：表・図・写真の追加(1)
13	Word：表・図・写真の追加(2)
14	Word：演習
15	Word：演習
16	期末試験

【履修上の注意事項】

- ・演習ごとに必要な項目を講義するため、授業計画内容は前後する場合があります。
- ・具体的な課題を一つ一つこなしていくことがコンピュータ技能の習得につながります。また継続した学習が求められますので出席も重視されます。毎時の課題をこなすだけでなく、いかにして効率よく正確に作業を行えるかを常に意識することが大切です。自主的・積極的な学習態度と、パソコン操作の疑問点について自ら調べたり周りに質問したりする姿勢が求められます。

【評価方法】

- ・評価は毎時の課題提出に加え、タイピングテスト、期末試験、出席が主な対象となります。
- ・一週間に1回しか授業がないので（全15回の授業）必ず全ての授業を受けてください。5回以上休んだ時点で期末試験の受験資格を失います。

【テキスト】

なし（毎回の課題で参考になるURL等を提示します）

【参考文献】

Wordで必要な機能に応じて適宜提示します。

英語情報処理Ⅱ

担当教員 真島 知秀

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義は、前期の英語情報処理Ⅰで学んだパソコンの基本操作から発展させ、資料収集、まとめ、発表などに必要な関連ソフトの習得を目指します。またインターネットを活用した各種ツールを紹介しながら、より実践的な演習を行います。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	Excel：基本操作
3	Excel：関数の利用
4	Excel：見やすい表の作成
5	Excel：グラフの利用
6	Excel：少し高度な関数
7	Excel：データベース
8	Excel：知っていると便利な機能
9	Excel：総合演習
10	PowerPoint：プレゼンテーション
11	PowerPoint：スライド作成
12	PowerPoint：スライドの組み立て
13	PowerPoint：スライドの仕上げ
14	PowerPoint：スライド提示
15	PowerPoint：総合演習
16	期末試験

【履修上の注意事項】

- ・演習ごとに必要な項目を講義するため、授業計画内容は前後する場合があります。
- ・基礎的なキーボード入力ができることを前提としているので、履修する学生は情報基礎Ⅰを修了していることが望ましいです。
- ・毎時の課題をこなすだけでなく、いかにして効率よく正確に作業を行えるかを常に意識することが大切であるためパソコン操作の疑問点について自ら調べたり周りに質問したりする姿勢が求められます。

【評価方法】

- ・評価は毎時の課題提出に加え、タイピングテスト、期末試験、出席が主な対象となります。
- ・一週間に1回しか授業がないので（全15回の授業）必ず全ての授業を受けてください。5回以上休んだ時点で期末試験の受験資格を失います。

【テキスト】

課題に合った資料を適宜提示する

【参考文献】

必要に応じて参考になるURL等を提示する

英語情報処理Ⅱ

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語情報処理Ⅱ

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講座の主な目的は、外資系企業など国際的環境の職場で実際に作成する書類を英語で作成する能力を身につける為のコースである。進め方としては、実際の英文書類を教材として、作表やグラフ作成などの演習を行っていく。インターネットも活用するが、使用ソフトはMicrosoft Excelが中心である。演習にあたっては、単にワープロ感覚で作表するのではなく、様々なデータ処理機能を活用しながら、書類を作成する能力を身につけることが大切である。

【授業の展開計画】

- 1週目 講義内容の説明、導入
- 2週目 アドレス帳の作成
- 3週目 単語帳の作成とインターネットの活用
- 4週目 日程表の作成
- 5週目 作表：Company's Report Their Earnings + Monthly Income
- 6週目 作表：Nikkei 225 Futures
- 7週目 作表+グラフ作成：Statistics on Japanese Population + 人生カレンダー
- 8週目 作表+グラフ作成：Expenditure Analysis
- 9週目 複雑な体裁を整える演習：Voice Messaging Matrix
- 10週目 作表：Import Calculation <前編>
- 11週目 作表：Import Calculation <後編>
- 12週目 作表：成績表<前編>
- 13週目 作表：成績表<後編>
- 14週目 特別講義：試験の傾向と対策 + 成績シミュレーション + 授業評価アンケート
- 15週目 期末試験
- 16週目 特別講義：提出物・成績最終確認・追加作業

【履修上の注意事項】

基礎的なキーボード入力ができることを前提としているので、履修する学生は情報基礎Ⅰを修了していることが望ましい。欠席する場合は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

【評価方法】

出席35%、提出物35%、宿題15%、期末試験15%、その他+/-5%の配分で評価する。その他とは、授業への貢献度や態度などを含む。実践的演習を中心に行う授業なので、評価の配分は試験よりも日頃の実践のほうが高い。また、提出期限を過ぎてからの提出物については、一日の遅れにつき1.5ポイントの減点となる。従って、課題を貯めて、期末に提出しても意味がない。とにかく学生は毎回出席して、授業に集中し、与えられた課題をこなして期限内に提出することが望まれる。

【テキスト】

使用せず。毎回練習用プリントを配布し、説明の後演習を行う。

【参考文献】

図書館所蔵の 各種Microsoft Office マニュアル本

英語情報処理Ⅲ

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

この授業では大学で必要な情報処理の基礎知識と技能を身につける。情報アーキテクチャと情報組織化を基礎としたウェブサイトの構築とデザインを学習し、イントラネットやインターネットでユーザに情報を提供する為に必要な知識と技術を習得する。授業でウェブサイトを実際に開発しながら情報処理術を学ぶ。

【授業の展開計画】

1. ウェブサイトのしくみ
2. 情報アーキテクチャの概要 1
3. 情報アーキテクチャの概要 2
4. 情報の組織化
5. ナビゲーションの設計
6. ラベリングシステム
7. イラストレーションソフト入門
8. 画像処理入門 1
9. 画像処理入門 2
10. 画像処理入門 3
11. 画像処理入門 4
12. HTML入門 1: Basic Tags, Links, Lists
13. HTML入門 2: Images
14. HTML入門 3: Tables
15. HTML入門 4: Page Layout

【履修上の注意事項】

課題は全部提出すること。無断欠席に注意。

【評価方法】

クイズ 20%

課題: Web page project - 80%

【テキスト】

Rosenfeld and Morville共著, 篠原稔和 監訳、情報アーキテクチャ入門、2002, オライリー・ジャパン.

【参考文献】

- * Steve Krug, ウェブサイトユーザビリティの法則、2001, SoftBank Publishing.
- * Jesse James Garrett, The Elements of User Experience, New Riders, 2003.
- * 柘植, 上原, 吉田, 大西, 坂本. Photoshop 操作とデザインの教科書, 2014.

英語情報処理Ⅳ

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英米演劇概論

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講では、英米の演劇史の流れを概観しながら、代表的な作品をいくつか取り上げます。劇作品は小説とは異なり、舞台上で演じられることを前提として書かれているため、セリフを手掛かりにして、立体的な舞台を想像しながら読んでいくという面白さがあります。それぞれの時代の歴史的、文化的特徴について解説をくわえながら、演劇の表現形態がどのように変化してきたのかを見ていきます。

【授業の展開計画】

- 1週目 講義内容の説明
- 2週目 イギリス中世演劇
- 3～5週目 シェイクスピアと大衆演劇
- 6～7週目 サヴォイ・オペラ
- 8～10週目 風習喜劇：Oscar Wilde の作品読解
- 11週目 アメリカ大衆演劇
- 12～14週目 アメリカ家庭演劇：Tennessee Williams の作品読解
- 15週目 現代演劇

【履修上の注意事項】

作品読解の際には、グループ発表の形式を取ります。

【評価方法】

学期末試験60%、授業への貢献度40%

【テキスト】

プリントを配布する。

【参考文献】

講義のなかで適宜紹介する。

英米詩概論

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講では、英米の代表的な詩人たちによる作品をいくつか読みます。日常の使い慣れた言葉では表現しがたい事柄を、英米の詩人たちがどのように表現しているのか、時代背景の理解とともに、探っていきます。

【授業の展開計画】

英米の代表的な詩人の作品をそれぞれ一編ずつ鑑賞する予定です。

- 1週目：講義説明
- 2週目：詩のコンベンション、リズム
- 3週目：Edmund Spenser
- 4週目：William Shakespeare
- 5週目：John Donne
- 6週目：Alexander Pope
- 7週目：William Blake
- 8週目：S.T. Coleridge
- 9週目：Nursery Rhyme
- 10週目：Edgar Allan Poe
- 11週目：Emily Dickinson
- 12週目：T.S. Eliot
- 13週目：Hart Crane
- 14週目：Elizabeth Bishop
- 15週目：Sylvia Plath
- 16週目：試験

【履修上の注意事項】

【評価方法】

学期末試験（60％）、授業への貢献度（40％）

【テキスト】

プリントを配布します

【参考文献】

講義のなかで適宜紹介します

英米社会文化特論

担当教員 未定

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 集中

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英米小説概論

担当教員 吉田 兼次

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英米文学概論

担当教員 石川 隆士

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義は主要な英米文学作品の鑑賞を通じて、言語としての英語のみならず、それが表現する多様な歴史・文化の重要な概念について理解することを目的とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction	17	Consciousness and Diversity 1
2	History of English 1	18	Consciousness and Diversity 2
3	History of English 2	19	Writing and Existence 1
4	Church and State 1	20	Writing and Existence 2
5	Church and State 2	21	Writing and Existence 2
6	Carpe Diem	22	Fact and Truth 1
7	Nature and Presence 1	23	Fact and Truth 2
8	Nature and Presence 2	24	Identity Crisis and Modernity 1
9	Nature and Presence 3	25	Identity Crisis and Modernity 2
10	Science and Magic 1	26	Identity Crisis and Modernity 3
11	Science and Magic 2	27	Senses and Being 1
12	Order and Wonderland 1	28	Senses and Being 2
13	Order and Wonderland 2	29	Poetry and Intelligence
14	Growth and World 2	30	Final Exam
15	Growth and World 1	31	Summary
16	Midterm Exam		

【履修上の注意事項】

クラスでの議論への積極的な参加を重視する。

【評価方法】

Quiz 40%

Midterm Exam 30%

Final Exam 30%

【テキスト】

ハンドアウトを使用

【参考文献】

授業進行に従い適宜紹介する

Oral Communication I

担当教員 フィリップス O グレヴィル

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

Fifty-Fifty Book One

【参考文献】

Oral Communication I

担当教員 ジョナサン ハッチャー

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

Oral Communication I

担当教員 ーロビンソン サイモン

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

Students will develop their ability to have informal conversations on a number of familiar topics, giving information about their own interests, likes and dislikes, and also eliciting similar from their conversation partner via conversation-generating questions.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	First meetings	17	Daily routine 2
2	How are you?	18	Daily routine 3
3	Free time 1	19	Like 1
4	Free time 2	20	Like 2
5	Free time 3	21	Like 3
6	Free time 4	22	Past 1
7	Occupations and part-time jobs 1	23	Past 2
8	Occupations and part-time jobs 2	24	Past 3
9	Review 1	25	Past 4
10	Review 2	26	Future 1
11	Can 1	27	Future 2
12	Can 2	28	Review 1
13	Can 3	29	Review 2
14	Time 1	30	Exam practice
15	Time 2	31	Exam
16	Daily routine 1		

【履修上の注意事項】

【評価方法】

Students will be assessed on their attendance, participation in classroom activities, and their performance on a final exam where they will have a short self-introduction conversation with me.

【テキスト】

There is no textbook for this course - instead we will use photocopied materials prepared by me.

【参考文献】

Oral Communication I

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

This course is designed to help first year students improve their English speaking and listening skills and their overall ability to communicate.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	Unit 1 & Listening Tests
3	Unit 2 & Listening Tests
4	Unit 3, Presentations & Listening Tests
5	Unit 4 & Listening Tests
6	Unit 5 & Listening Tests
7	Unit 6 & Listening Tests
8	Unit 7, Interviews & Listening Tests
9	Unit 8 & Listening Tests
10	Unit 9 & Listening Tests
11	Unit 10, Presentations & Listening Tests
12	Unit 11 & Listening Tests
13	Unit 12 & Listening Tests
14	Unit 13 & Listening Tests
15	Unit 14, Presentations & Listening Tests
16	Interview Tests

【履修上の注意事項】

The class will be conducted primarily in English. Students should come to class with their textbooks and prepared to interact with the teacher and other students using English.

【評価方法】

Regular attendance is extremely important in this class. Students will be evaluated based on their attendance, class participation and a variety of listening exams. Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade.

【テキスト】

Shimizu, P. & Gaston, B. Marathon Mouth Plus, Intercom Press (Available at Asano Bookstore)

【参考文献】

Oral Communication I

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

In this course I aim to encourage students to become more confident speakers of English. In doing so I use a variety of low-stress activities, usually involving pair or group work, and co-operative (and hopefully fun) activities which require students to use the language they know.

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

This is likely to be based on attendance and participation, informal interviews, and homework assignments designed to prepare for or reinforce class activities.

【テキスト】

Marathon Mouth Plus. Paul Shimizu & Brent Gaston

【参考文献】

Oral Communication II

担当教員 フィリップス O グレヴィル

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

Fifty-Fifty Book One

【参考文献】

Oral Communication II

担当教員 東恩納 ミシェル

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

The primary focus of this course is for students to increase their ability to converse and communicate in English. Listening, speaking, pronunciation and vocabulary acquisition will be addressed. Topics include: Geographical regions, climate and food. Culture, communication and small talk. City life and maps. Human organs, parts of the body and ailments. Physical and mental challenges. Life stages. Luxury items, import and export. Animals and adverbs of manner. The past. Travel, vacations and the airport. Career decisions. Festivals, holidays and celebrations.

【授業の展開計画】

Please note: As this is an oral ENGLISH class your instructor will speak only English during the class period. Please use English as much as possible in class. Please do not chat with your conversation partners in Japanese during the class period. Expect to spend several hours OUTSIDE of class time preparing for your midterm and final exams, and doing listening work.

週	授 業 の 内 容
1	Geographical regions, Food staples, Climate
2	Culture, communication, gestures and small talk
3	City life and maps
4	Presentations
5	Human organs, parts of the body, ailments
6	Physical and mental challenges
7	Stages of life
8	Presentations
9	Luxury items, import and export
10	Animals and adverbs of manner
11	Presentations
12	The past. Travel, vacations and the airport
13	Presentations
14	Careers
15	Festivals, holidays and celebrations
16	Final projects

【履修上の注意事項】

【評価方法】

1. Two oral presentations 20% each
2. Attendance and participation 30%
3. Final presentation 20%
4. 10 hours listening 10%. If you are absent 10 times you cannot pass this course. Being late to class 3 times equals one absence.

【テキスト】

World English 2 Heinle Cengage Learning. ISBN 978-1-4240-5091-8

【参考文献】

Listening Homework: 1. Randall's Cyber Listening Lab www.esl-lab.com 2. Ello www.ello.org
 3. VOA www.voanews.com 4. National Geographic www.nationalgeographic.com 5. www.lyrics.com
 You will need a Japanese/English dictionary.

Oral Communication II

担当教員 ジョナサン ハッチャー

対象学年 1年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

Oral Communication II

担当教員 -ジ ョウソ ターハート

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

This course is designed to improve students' speaking and listening skills as well as their overall ability to communicate effectively in English in real-life situations.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Self-introductions	17	How often
2	Useful English	18	How often
3	Unit 2	19	Unit 10
4	Unit 2	20	Unit 10
5	Unit 3	21	Unit 10
6	Unit 3	22	Unit 12
7	Numbers	23	Unit 12
8	Numbers	24	Unit 13
9	Prepositions of place	25	Winter vacation activity
10	Unit 4	26	Unit 14
11	Unit 5	27	Unit 14
12	Unit 8	28	Unit 15
13	Unit 8	29	Interview
14	Vocabulary about personality	30	Interview
15	Unit 6	31	Listening test / Self-evaluations
16	Listening test / Unit 6		

【履修上の注意事項】

Students will be expected to use English as much as possible in class. Students should come to class prepared (with textbooks and dictionaries) and willing to participate.

【評価方法】

The final grade will be based on: quizzes / participation / listening tests / pair and group work / presentations / attendance / interview / homework assignments related to class activities.

【テキスト】

Thompson, P. & Chase, C. Natural Speaking, Intercom Press

【参考文献】

An English-Japanese / Japanese-English dictionary (printed or electronic) is recommended. Cell phone dictionaries cannot be used in class.

Oral Communication II

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 1年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

This course is designed to help students improve their speaking and listening skills and their overall ability to communicate.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	Useful English
3	Introductions
4	What Do You Do?
5	Day to Day
6	Where Are We?
7	Talking about Families
8	What Are You Interested In?
9	Talking about the Past
10	Looking at People
11	This One? That One?
12	I've Got a Feeling
13	Let's Go Shopping
14	That's Entertainment
15	Dreams and Fantasies
16	Interview Tests

【履修上の注意事項】

The class will be conducted primarily in English. Students should come to class with their textbooks and prepared to interact with the teacher and other students using English.

【評価方法】

Regular attendance is extremely important in this class. Students will be evaluated based on their attendance, class participation and a variety of listening exams. Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade.

【テキスト】

Thompson, P. & Chase, C. Natural Speaking, Intercom Press (Available at Asano Bookstore)

【参考文献】

Oral Communication III

担当教員 一ヒーター ウォタース

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

Oral Communication III

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

Oral Communication III

担当教員 東恩納 ミシェル

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

The course aims to empower students to engage in basic conversations, correctly use in context the basic tense system, modal verbs, and basic speech acts, ask and answer questions on conversational topics, speak continuously in a short monologue on personal and everyday topics, be able to give their opinions, become aware of the effect of phonological features, improve their pronunciation, intonation, and rhythm and perceive, comprehend and respond where appropriate to basic spoken English.

【授業の展開計画】

週	授業の内容
1	Getting Started Personal Information
2	Asking for Information
3	Describing Things Presentation 1
4	Making Requests
5	Giving Instructions
6	Asking For Permission
7	Making Excuses and Giving Reasons
8	Presentation 2
9	Giving Opinions
10	Comparing Things
11	Giving Advice and Making Suggestions
12	Talking About Experiences Presentation 3
13	Inviting
14	Making Predictions
15	Personal Goals and Dreams
16	Final Interview exam

【履修上の注意事項】

All notes for class will be taken by students provided orally by instructor.

【評価方法】

1. Three brief dialog or other oral presentations 10% each 2. Attendance & participation 30%
3. Final interview exam 30% 4. 10 hours listening 10%

If you are absent 10 times you cannot pass this course and will have to repeat it.

If you are absent on your assigned presentation day 10% per class will be subtracted from your presentation score.

【テキスト】

Fifty-Fifty Book Two Third Edition ISBN 978-962-00-5666-6

【参考文献】

1. Randall's Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/> 2. ELLLO <http://www.ello.org/english/home.htm> 3. VOA <http://www.voanews.com/english/news/> 4. National Geographic <http://www.nationalgeographic.com/>

Oral Communication III

担当教員 ジョウン ターバート

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

The class will include a variety of pair / group / class activities to develop communication skills. The course is designed to improve students' speaking and listening skills with a focus on practical English used in daily conversation as well as basic polite expressions used in business.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Self-introductions	17	Conversational expressions
2	Interview partner for speech	18	Conversational expressions
3	Work on speeches in pairs	19	Giving opinions
4	Speech	20	Giving opinions
5	Making requests	21	Discussion
6	Asking for permission	22	Discussion
7	Making requests / Asking for permission	23	Discussion
8	Making requests / Asking for permission	24	Talking about culture
9	Giving advice / Making suggestions	25	Talking about culture
10	Giving advice / Making suggestions	26	Interview
11	Giving advice / Making suggestions	27	Interview
12	Making excuses / Giving reasons	28	Speech
13	Making excuses / Giving reasons	29	Speech
14	Making plans	30	Speech
15	Using the telephone	31	Self-evaluations
16	Mid-term self-evaluation		

【履修上の注意事項】

Students will be expected to use English as much as possible in class. Students should come to class prepared and willing to participate.

【評価方法】

The final grade will be based on: quizzes / participation / pair and group work / presentations / in terview / attendance / homework assignments related to class activities.

【テキスト】

There is no assigned textbook for this class. The instructor will provide materials to be used in class. You will need to buy an A4 clear file folder to organize your handouts.

【参考文献】

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to class . Cell phone dictionaries cannot be used in class.

Oral Communication III

担当教員 一ツ化ツツ レイフールト

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

観光英語

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

観光英語

担当教員 東 菜美

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習 I

担当教員 西原 幹子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習 I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習 I

担当教員 漆谷 克秀

対象学年 1年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

【授業のねらい】

「読む」「話す」「調べる」「書く」の基礎能力を培う。プリントを用いて生きた文章のポイントを口述し、原稿用紙（400字）による実践練習を繰り返す。思ったように書けないのが当たり前で、「書く」ことには技術を必要とします。

誤字のない、理解しやすい簡潔な表現を目指します。

夏休みには、ゲーテの『ファウスト』を読み、レポートを作成する。

【授業の展開計画】

- 1週： 講師と受講生の自己紹介、授業のガイダンス
- 2週： 原稿用紙の使い方
- 3週： 表現空間—接続詞、文の長さ—接続助詞の「が」
- 4週： 文末表現、全称的判断
- 5週： 比喻、呼応
- 6週： 語句の係り受け
- 7週： 用語と語感
- 8週： 同語の反復
- 9週： 句読点
- 10週： 紛らわしい語—自動詞・他動詞
- 11週： 漢字とかな
- 12週： 簡潔な表現
- 13週： 翻訳調
- 14週： 助詞
- 15週： 前期のまとめ

【履修上の注意事項】

原稿用紙（400時）を用意してください。鉛筆書きで、Bか2B を使ってください。

10回ほどの実作練習があります。提出期限を守ること。

【評価方法】

出席を確認します。10回前後の原稿提出があります。出席と仕事の量で評価します。

【テキスト】

プリントを配布します。

ゲーテ『ファウスト』第一部、第二部、池内紀訳、（集英社文庫）

【参考文献】

本田勝一『日本語の作文技術』（朝日文庫）ほか、「文章」に関する文献を読むように。

基礎演習 I

担当教員 前澤 大樹

対象学年 1年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

【授業のねらい】

この授業では、基礎演習IIと合わせて、大学で専門的に学び、更には研究を行う上で必要な「論理的に考える力」を養い、それと結び付く正確な読解力・適切な表現力・議論力を身に付けることを目指す。先ず、そのための参考になる、英文の段落構成の概観から始める。論理的構成を把握する練習の後、日本語で自分でも書いてみる。続いてより長い文章へと進み、述べられた意見に反対/賛成する方法を学ぶ。後半では、グループ単位で討論や議論の練習を行い、更に選んだ文章の内容をまとめた上で意見を述べる発表を行う。

【授業の展開計画】

*進行日程はあくまで目安であり、受講者の理解度・達成度や活動実施状況により、実施内容を含め予定を変更する場合がある。

週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、導入
2	英語に於ける段落の基本構造と段落構成の類型(1)
3	段落構成の類型(2)
4	段落構成の類型(3)
5	段落から小論へ——論旨と論理的構成を把握する
6	意見に賛成/反対する：前提と論理展開、結論の補強と問題の指摘
7	グループ活動：小論の要約・検討と結論付け、課題の特定
8	小論を読んだでの討論演習(1)
9	小論を読んだでの討論演習(2)
10	小論を読んだでのより自由な議論(1)
11	小論を読んだでのより自由な議論(2)
12	グループ発表に向けて：実施方法等の説明、話し合いと準備作業
13	グループ発表と全体での議論(1)
14	グループ発表と全体での議論(2)
15	グループ発表と全体での議論(3)
16	レポート提出

【履修上の注意事項】

1. 辞書は毎回必ず持参すること。
2. ほぼ毎回、何らかの課題を出すことになると思われるが、提出を求めない場合(次回までに読む・調べる・考えてくる等)も必ず実施すること。実施しなかった場合、翌週以降の活動に支障を来す可能性がある。
3. 積極的な姿勢で参加すること。

【評価方法】

(1) グループ発表：20% (2) レポート：25% (3) 提出課題：25% (4) 授業内活動の実施状況・授業への貢献度(発言・質問等)：30%
の配分で得点を計算し、評価を決定する。

【テキスト】

配布資料を使用。

【参考文献】

必要に応じ、適宜紹介する。

基礎演習 I

担当教員 尚 真貴子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

「読む」「書く」「話す」「聞く」の四技能の実践的な練習を通じて、大学で学ぶための必要な「日本語力」の育成を目標とする。個人発表、グループ発表の際には、レジュメを準備し内容を簡潔に明瞭にまとめ、分かりやすく話す。また、指定されたテキストを読み、それぞれのグループで大意とテーマをまとめ、発表し、それをもとに、全員でディスカッションを行う。

【授業の展開計画】

実際の授業の進め方（授業の展開計画）に関しては、別に詳しいシラバスを作成し最初の授業で配布する。

【履修上の注意事項】

(1) 遅刻・無断欠席をしないこと。(2) 積極的に授業に参加すること。(3) 教室内では、携帯電話の電源を切ること。(4) 宿題等の提出期限を厳守すること。

【評価方法】

総合的に評価するが、特に平常点を重視する。よって授業態度、提出物、担当課題の口頭発表、授業への参加状況などが重視される。

【テキスト】

配布資料と参考文献を中心に講義を行う。

【参考文献】

参考図書リストをクラスで配布する。

基礎演習 I

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

レポートの作成・発表、スピーチ等の活動を通して日本語・英語による文章力、発表力の向上を目指します。

【授業の展開計画】

コース前半は日本語によるグループ発表、個人スピーチ、後半は英語の個人スピーチ、ワークショップを行います。

【履修上の注意事項】

無断欠席・遅刻をしない（遅刻2回で欠席1回とみなします、1/3以上欠席の場合単位は認められません）

【評価方法】

授業態度（出席状況、発言）、ブックリポート、グループレポート、グループ発表、個人発表を総合的に評価します。

【テキスト】

講義の中で適宜配布します。

【参考文献】

授業の中で紹介します。

基礎演習Ⅱ

担当教員 西原 幹子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習Ⅱ

担当教員 漆谷 克秀

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

基礎演習Ⅰでは、主に、考えたことを「書く」ということに集中してきた。基礎演習Ⅱでは、夏休みに読んだテキストについて

さらに調べ、発表することとする。学期末に、発表、質疑応答などを経て、レポートを作成し、提出することにする。2年生以降に課せられるレポート作成の基本的な者を身につける。

【授業の展開計画】

1週： 授業のガイダンス

2週： レジューメ作成、注[註]の作成について

3週～14週： 毎回二名が、自ら選んだテーマについて発表、その後の質疑応答をおこなう。

15週： 後期学期のまとめ

【履修上の注意事項】

ゲーテの『ファウスト』を共通のテキストとして、その中からテーマを選び、発表してください。ヨーロッパやアメリカについて、とくに興味のあるテーマがある場合は、その旨を明確にしてください。無断欠席をしないこと。とくに、発表すべき授業での無断欠席はしない。

【評価方法】

出席を確認します。夏休みのレポート提出、発表、学期末のレポート提出、それに出席を加えて評価します。

【テキスト】

ゲーテ『ファウスト』第一部、第二部、池内紀訳、（集英社文庫）

【参考文献】

『ファウスト』は、ゲーテの生涯をかけたドイツ文学史上最高の作品といえます。ゲーテの他の作品も読んでください。

基礎演習Ⅱ

担当教員 前澤 大樹

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

基礎演習Iから引き続き、大学で専門的に学び、更には研究を行う上で必要な「論理的に考える力」を養い、それと結び付く正確な読解力・適切な表現力・議論力を身に付けることを目指す。前期の内容を更に発展させ、節分けや図表の使用等を概観した後、複数の意見を比較して論点をまとめる訓練を行う。以降は、既存の意見に基づいて自らの見解を述べることを主眼とし、先ず文献・資料の利用法と引用の仕方を学ぶ。興味のある問題を選んで資料を収集・検討し、意見をまとめることに取り組む。最後に、実際に発表を行い、レポートを提出する。

【授業の展開計画】

*進行日程はあくまで目安であり、受講者の理解度・達成度や活動実施状況により、実施内容を含め予定を変更する場合がある。

週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、基礎演習Iの復習、導入
2	発展的な構成上の手段・工夫
3	複数の意見を比較する(1)
4	複数の意見を比較する(2)
5	発表・レポート作成での文献・資料の利用と適切な引用方法
6	特定の問題について調べる(1)
7	特定の問題について調べる(2)
8	自らの意見をまとめる・述べる
9	他者の発表の理解と考察、質問・コメントの意義と活用
10	個人発表と質疑応答(1)
11	個人発表と質疑応答(2)
12	個人発表と質疑応答(3)
13	個人発表と質疑応答(4)
14	個人発表と質疑応答(5)
15	まとめ
16	レポート提出

【履修上の注意事項】

1. 辞書は毎回必ず持参すること。
2. ほぼ毎回、何らかの課題を出すことになると思われるが、提出を求めない場合(次回までに読む・調べる・考えてくる等)も必ず実施すること。実施しなかった場合、翌週以降の活動に支障を来す可能性がある。
3. 積極的な姿勢で参加すること。

【評価方法】

(1) 個人発表：20% (2) レポート：40% (3) 提出課題：20% (4) 授業内活動の実施状況・授業への貢献度(発言・質問等)：20%
の配分で得点を計算し、評価を決定する。

【テキスト】

配布資料を使用。

【参考文献】

必要に応じ、適宜紹介する。

基礎演習Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習Ⅱ

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング活動を通して英語による授業に対応できる技能の獲得を目指します。

【授業の展開計画】

前半は、リーディングやリスニングで得た情報を伝える練習、後半はパワーポイントを使用したプレゼンテーションを練習します。

【履修上の注意事項】

- (1) 無断欠席・遅刻をしない（遅刻2回で欠席1回とみなします、1/3以上欠席の場合単位は認められません）
- (2) 課題は期限内に提出すること

【評価方法】

授業態度（出席状況、発言）、スピーチ、グループレポート、ブックリポートを総合的に評価します

【テキスト】

講義中に適宜配布します

【参考文献】

講義中に連絡します

基礎演習Ⅱ

担当教員 尚 真貴子

対象学年 1年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期の「基礎演習Ⅰ」に引き続き、大学の授業や研究発表の場で必要な読解能力、文章表現能力、口頭発表能力を培う。次の3つのことを行う。1. パワーポイントを使用しての個人発表 2. 指定されたテキストを読み、内容を要約、レジュメを作成してのグループ発表 3. 個人で興味あるテーマを選んで深く調べ、比較的長いレポートの作成（授業内では、レジュメを作成し口頭発表）

【授業の展開計画】

実際の授業の進め方（授業の展開計画）については、別に詳しいシラバスを作成し最初の授業で配布する。

【履修上の注意事項】

（1）遅刻・無断欠席をしないこと。（2）積極的に授業に参加すること。（3）教室内では、携帯電話の電源を切ること。（4）宿題等の提出物の期限を厳守すること。

【評価方法】

総合的に評価するが、特に平常点を重視する。よって授業態度、提出物、担当課題の口頭発表、授業への参加状況などが重視される。

【テキスト】

配布資料と参考文献を中心に講義を行う。

【参考文献】

参考図書リストをクラスで配布する。

基礎演習Ⅲ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

This course is designed to assist students in improving their ability to write sentences, paragraphs and reports in English. It will also assist them in learning how to choose a research topic, gather information from libraries, the Internet and other sources, analyze that information, present it in a written English report and then make an oral presentation based on that report. This first half of the course will give more attention to developing English research and writing skills.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Registration and Course Introduction
2	Student Self Introductions
3	Introduction to research methods
4	Introduction to Rashamon and In a Grove
5	Kurosawa's Rashamon
6	Group discussions of Rashamon
7	Submission of Rashamon Research Paper first draft
8	Return of Rashamon Research Paper first draft
9	Submission of Rashamon Research Paper final draft
10	Selection of Paper Topics, Library Search Exercise
11	Library Search Check
12	Submission of Research Plan
13	Individual Consultations
14	Submission of Introduction
15	Return of Introduction
16	Individual Presentations

【履修上の注意事項】

Registration for this course is based on assignment by student number.

【評価方法】

Students will be evaluated based on their written reports, oral presentations, homework, and class participation. Students will also be evaluated on their attendance and their ability to meet deadlines.

【テキスト】

There is no text for this class. Students will be given a syllabus and will keep a journal and will bring both the syllabus and the journal to class each week. The content of the journal will be explained in class.

【参考文献】

Students will be given materials to help them learn how to use the APA style in written reports.

基礎演習Ⅲ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期は「コミュニケーション」や「文化とことば」に関するテーマに焦点をあて、『自分で考える力』を育む事を目的とする。グループ毎に興味のあるテーマを選択し、グループ内での話し合いや議論を通して、自分達の立場や考え方を明確にプレゼンする力をつける。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

- 出席状況, 受講姿勢 40%
*ただし, 5回クラスを欠席した時点で不可とする。
- 課題・グループワーク・発表 60%
などから総合的に判断する。

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習Ⅲ

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

The aim of this course is to build on students' English study skills so as to conduct academic discussions, and produce academic texts and presentations in English.

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

For practical reasons classes will be conducted predominantly in English, though I do not intend to impose an “English only” policy.

【評価方法】

Evaluation is by continuous assessment based on course work, participation and attendance, and self-evaluation

【テキスト】

No textbook is required for this class.

【参考文献】

基礎演習Ⅲ

担当教員 李 イニッド

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講義では、英語で書く力を高めるためにリーディングスキルを徹底的に身につけることを目指す。まず、自分のこれまでの「英語の読み方」をチェックし、効果的なリーディングとは何かについて考える。そして皆さんの英語力をもとにして、読む目的や内容に合った効率の良いリーディング方法を学習する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	Library workshop
3	Preview: Finding the main idea
4	Exploring the main idea
5	Reading faster
6	Understanding organization
7	Recognizing logical writing
8	Finding similarities & differences
9	Stepping up to longer passages
10	Summarizing longer passages
11	Finding it fast; Searching for information
12	Reading for Pleasure
13	Reading between the lines
14	Reading as a guessing game
15	Getting the rough meaning
16	Paper due

【履修上の注意事項】

特になし。

【評価方法】

出席率及び授業参加態度(40%)、課題提出(30%)、レポート(30%)により総合的に評価する。

【テキスト】

講義開始時に指示する。

【参考文献】

基礎演習Ⅲ

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

The focus of this seminar will be to teach students to go from paragraph to Essay. We will explore various types of writing styles using the assigned text book. Students will be expected to submit written assignments on a regular basis.

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

Priority will be given to attendance, active participation and timely assignment submission.

【テキスト】

From Great Paragraphs to Great Essays. Heinle Cengage Learning

【参考文献】

基礎演習Ⅳ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

This course is designed to assist students in improving their ability to choose a research topic, gather information from libraries, the Internet and other sources, analyze that information, present it in a written English report and then make an oral presentation based on that report. This second half of the course will concentrate on producing an individual research report and developing oral English presentation skills, including the use of PowerPoint.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Introduction and Registration
2	Individual Consultations
3	Submission of Introduction and Body
4	Return of Draft
5	Individual Consultations
6	Submission of First Full Draft
7	Return of Draft
8	Submission of Second Draft
9	Return of Draft
10	Individual Consultations
11	Submission of Final Draft
12	Oral Presentations Preparation Day
13	Oral Presentations
14	Oral Presentations
15	Oral Presentations
16	Oral Presentations

【履修上の注意事項】

Registration for this course is based on assignment by student number.

【評価方法】

Students will be evaluated based on their written reports, oral presentations, homework and class participation. Students will also be evaluated based on their attendance and their ability to meet deadlines

【テキスト】

There is no text for this class. Students will be given a syllabus and will keep a journal and will bring them to class each week. The content of the journal will be explained in class.

【参考文献】

Students should follow the standards of the APA Publication Manual.

基礎演習Ⅳ

担当教員 李 イニッド

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期の「基礎演習Ⅲ」に続き、本授業では、報告書などの概要の書き方及びオーラルプレゼンテーションのテクニックを習得する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction; evaluating book reports; common errors
2	Mini presentations: self-introduction
3	The physical message (1)
4	The physical message (2)
5	The physical message (3)
6	The physical message (4)
7	The visual message (1)
8	The visual message (2)
9	The story message (1)
10	The story message (2)
11	The story Message (3)
12	The story Message (4)
13	Final Performance
14	Oral presentations (1)
15	Oral presentations (2)
16	Oral presentations (3)

【履修上の注意事項】

期限厳守。

【評価方法】

出席率及び授業参加態度(40%)、課題提出(20%)、口頭発表(40%)により総合的に評価する。

【テキスト】

講義開始時に指示する。

【参考文献】

講義開始時に指示する。

基礎演習Ⅳ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

後期は各自が興味をもったテーマについて深く掘り下げる。

「外国語学習」「方言とステレオタイプ」「女性っぽい話し方、男性っぽい話し方の要因を調べる」「アニメに使われる日本語のオノマトペとその英語訳からみる音のイメージ」「文化とことば」など様々なテーマについて考え、『クリティカルシンキング（批判的に考え自分の意見を持つこと）』の力を養うことを目的とする。またグループ内での話し合いや議論を通して、自分達の立場や考え方を明確にプレゼンする力をつける。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

- 出席状況、受講姿勢 40%
*ただし、5回クラスを欠席した時点で不可とする。
- 課題・グループワーク・発表 60%
などから総合的に判断する。

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習Ⅳ

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

基礎演習Ⅳ

担当教員 ヒーター シンプソン

対象学年 2年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

The aim of this course is to build on students' English study skills so as to conduct academic discussions, and produce academic texts and presentations in English.

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

For practical reasons classes will be conducted predominantly in English, though I do not intend to impose an “English only” policy.

【評価方法】

Evaluation is by continuous assessment based on course work, participation and attendance, and self-evaluation.

【テキスト】

No textbook is required for this class.

【参考文献】

言語学概論 I

担当教員 里 麻奈美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

言語学概論 I では、みなさんが日常生活でふと疑問に思ったことのある「ことばの不思議」に迫りながら、言語学の楽しさや奥の深さを伝えることを目標とする。例えば「言葉はいつどうやって生まれたの?」「世界で一番難しい言語って何?」「文明の進んでいない民族のことばは、先進国のことばよりも単純なの?」「なまりと言葉の境界線って?」「どうやったら”良い発音”ができるようになるの?」など、知っているようで知らない疑問について、言語学の観点から一緒に考えてみましょう!

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション「言語学って一体なに?」
2	文化とことば「文明のすすんでいない民族のことばは、先進国のことばよりも単純なの?」
3	文化とことば「なまり(方言)と言葉の違いって何?」
4	世界の言語「言葉はいつどうやって生まれたの?」
5	世界の言語「日本語はどこから来たの?」
6	世界の言語「日本語と韓国語は本当に似ているの?」
7	ことばとジェンダー「女言葉と男言葉って何?」
8	講義 + 中間テスト
9	音声学「世界のことばにはどんな音があるの?」
10	音声学「どうやったら“良い発音”ができるようになるの?」
11	文法「普遍文法って何?」
12	語形成、音の変化「テレビジョンはテレビ、スマートフォンはスマフォ?」
13	ライティングシステム「なぜアルファベット、漢字、平仮名など違った文字を使うの?」
14	ライティングシステム「なぜ日本語はカタカナだらけなの?」
15	講義 + 期末テスト復習
16	講義 + 期末テスト

【履修上の注意事項】

【評価方法】

● 課題, 出席状況, 受講姿勢 30%
(ただし, 5回クラスを欠席した時点で中間テスト・期末テストの受講は不可)

● 中間テスト 30%

● 期末テスト 40%

などから総合的に判断する。

【テキスト】

講義内で適宜紹介する。
テキストの購入は必要なし。

【参考文献】

言語学概論Ⅱ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

言語学概論Ⅱでは、ふだん何気なく見過ごしてきた「ことばの不思議」に迫りながら、言語学の楽しさや奥の深さを伝えることを目標とする。例えば「赤ちゃんの最初の言葉が「ママ」なのはどうして?」「まだうまく話せない赤ちゃんはどんな事を考えているの?」「手話をするゴリラは人間と同じくらい話せるの?」「動物ってどうやってコミュニケーションを取っているの?」など、知っているようで知らない疑問について、言語学の観点から一緒に考えてみましょう!

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション「言語学とは?」
2	赤ちゃんの最初の言葉が「ママ」なのはどうして?
3	赤ちゃんがことばを話せる様になるまで
4	言葉を失った女の子：隔離と言語習得
5	外国語を習得するのはどうして難しいの?
6	脳の不思議と脳の秘密：天才脳って何?
7	講義＋中間テストレビュー
8	講義＋中間テスト
9	脳を損傷するとどうなるの?：様々な失語症
10	動物にはことばがあるの?：イルカ・犬・サル・カワウソ
11	手話で人間とコミュニケーションをとるゴリラ
12	英語にもバリエーションがあるって本当?
13	新しいことばが生まれる時：ハワイの例から
14	みんなが知らない脳の不思議
15	講義＋期末テストレビュー
16	講義＋期末テスト

【履修上の注意事項】

【評価方法】

- 課題, 出席状況, 受講姿勢 30%
(ただし, 5回クラスを欠席した時点で中間テスト・期末テストの受講は不可)
 - 中間テスト 30%
 - 期末テスト 40%
- などから総合的に判断する。

【テキスト】

講義内で適宜紹介する。
テキスト購入の必要なし。

【参考文献】

CALL教授法

担当教員 前澤 大樹

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

この講義では、CALL機器を利用した授業の方法と実践について学ぶことを目的とする。講義期間前半では、CALL機器の基本的機能や操作、授業に於ける利用の形や方法論について、折に触れて実際の機器を確認しながら概説する他、インターネットの活用や、更なる発展の可能性についての検討も行う。参考となるよう、実践例についても幾つか紹介する。後半では、先ずCALL教材の工夫を実際に試みる。最後に、それまで学んだ内容に基づいて、CALL機器を活用した授業を計画し、実演する機会を設ける。

【授業の展開計画】

*進行日程はあくまで目安であり、受講者の理解度・達成度や活動の実施、設備の状況等により、実施内容を含め予定を変更する場合がある。

週	授 業 の 内 容
1	授業概要、導入
2	CALLの基礎
3	CALL授業の基礎(1)
4	CALL授業の基礎(2)
5	CALL機能の具体的活用(1)
6	CALL機能の具体的活用(2)
7	インターネットの活用
8	更なる発展的活用と実践例
9	CALL教材の工夫と教材作成(1)
10	CALL教材の工夫と教材作成(2)
11	CALL教材の工夫と教材作成(3)
12	模擬授業によるCALL活用の実践(1)
13	模擬授業によるCALL活用の実践(2)
14	模擬授業によるCALL活用の実践(3)
15	まとめ
16	最終レポート提出

【履修上の注意事項】

【評価方法】

(1) 模擬授業：30% (2) 最終レポート：15% (3) 提出課題(教材作成を含む)：30% (4) 授業内活動の実施状況・授業への貢献度(発言・質問等)：25%
の配分で得点を計算し、評価を決定する。
但し、活動実施が極めて重要な授業のため、正当な事由無き欠席は原則として認めない。やむを得ない事情により欠席する場合は、必ず事前に相談すること。

【テキスト】

未定(初回授業時に告知予定)。

【参考文献】

時事英語

担当教員 ヒーター シンブソン

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

This class will be designed and redesigned through a process of negotiation based on students priorities, unfolding events in Okinawa, Japan and the world, and previous media projects which I have been involved with in Okinawa. Possibilities are likely to include an examination of reports into the recent Tohoku catastrophe, and appropriate courses of action to take in response, how controversial events are reported in Okinawa, and a group reporting project.

【授業の展開計画】

Course structure will be organised after an initial needs assessment.

【履修上の注意事項】

While use of English may be encouraged in this class, this will only be within meaningful contexts. In other words, where Japanese explanation and discussion lead to greater understanding of issues involved, these will be most welcome.

【評価方法】

Evaluation will also be negotiated with the class, but is likely to include attendance, group work, and a final report.

【テキスト】

Students are not required to buy a textbook, but please read the newspapers and watch TV news!

【参考文献】

専門演習 I

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

This seminar aims to introduce students to the basic concepts of nonverbal communication with an emphasis on the problems and opportunities of communication in a variety of intercultural contexts.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	Verbal & nonverbal communication
3	Body movements & gestures
4	Facial expression
5	Eye behavior & gaze
6	Paralanguage
7	Touching behavior
8	Space & distance
9	Time & silence
10	Clothing & personal artifacts
11	The environment & color
12	Cross-cultural differences
13	Gender differences
14	Other issues
15	Oral Presentation (1)
16	Oral Presentation (2)

【履修上の注意事項】

期限厳守。

【評価方法】

出席率及び授業参加態度（50%）、プロジェクト及び口頭発表（50%）により総合的に評価する。

【テキスト】

講義開始時に指定する。

【参考文献】

講義開始時に指示する。

専門演習 I

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

This Seminar will have a European focus. We will be researching, drafting and presenting and discussing current issues that exist in the Eurozone. Students will be expected to be thorough and diligent in their research efforts, and well rehearsed and confident in their delivery of their findings.

【授業の展開計画】

The class format will be modeled until the end of April.

【履修上の注意事項】**【評価方法】**

Credit is earned through attendance, participation, timely assignment submission and presentations.

【テキスト】

There is no assigned textbook for this class. Any additional materials will be provided by the instructor.

【参考文献】

専門演習 I

担当教員 漆谷 克秀

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

現代の社会は、政治的には議会制民主主義、経済的には市場にもとづく資本主義の枠組のなかにあると考えられます。歴史的に、この枠組を形成し、先導してきたのがヨーロッパという地域です。

現在、「多様性のなかの統一」という理念において、ヨーロッパ連合(EU)の試みが実行されています。戦争の世紀を経てきた反省から、「対話」による平和への希求、「文化的多元性」の尊重が、EUの理念を支える。

卒論に向けて、ヨーロッパの現状や歴史的な事柄から、興味ある課題を捉えていくことを目指す。

【授業の展開計画】

適切なテキストを使って、発表形式で輪読する予定。そのなかで、ヨーロッパの歴史や位置(地理)、言語や神話・民話、芸術、宗教などを学習していく。

【履修上の注意事項】

レポート提出とか、発表などの日時は厳守すること。

受講者相互の積極的な発言を期待する。

【評価方法】

出席状況、授業への参加態度、レポートを勘案して評価する。

【テキスト】

「ヨーロッパ学入門[改訂版]」(朝日出版社)

【参考文献】

ヨーロッパに関して、各自のテーマに沿った文献を図書館等で調べてください。古い文献は避けること。

専門演習 I

担当教員 野口 正樹

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

英語の『なぜ?』に答える形で講義を行います。“I'm loving it.”はなぜ進行形で表現出来るのか。“psychology”の“p”はなぜ発音されないのか。日本語では家畜名「豚」に「肉」を付けるだけで食肉の「豚肉」になるのに、英語では“pig”を“pork”と表現し、“pig meat”と普通なぜ表現しないのか。“look”は視線を向けて見るはずなのに、“He looks happy.”と「...のように見える」といった意味になるのは?なぜ、“He sees happy.”と言えないのか。これらの疑問を解明しながら、英語全般に関する知識を深めます。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な事由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② presentation
- ③ 疑問解明度
- ④ 質疑応答・全体討論
- ⑤ task 評点
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ 中間・期末試験
- ⑧ term paper

【テキスト】

別途連絡します。

【参考文献】

別途連絡します。

専門演習 I

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

イギリスの代表的な劇作家シェイクスピアの作品を読みます。前期は「ブルータスおまえもか」で有名な劇 Julius Caesarを取り上げ、受講生みんなでディスカッションをしながら読み進めていきます。シェイクスピアの豊かな比喻表現に触れ、読解力を鍛えるとともに、キリスト教やギリシャ神話についての一般的な教養も少しずつ身に付けていくことを目指します。

【授業の展開計画】

- ・スケジュールの詳細については、初回の授業で通知します。
- ・場面全体の流れをつかむために訳本やビデオを参考にしながら、重要なセリフに関しては原文を精読します。
- ・いくつかのグループに分かれ、毎週担当を決めて発表してもらいます。
- ・指定されたテーマについて、学期末にレポートを提出してもらいます。

【履修上の注意事項】

【評価方法】

発表内容と学期末レポートにより総合的に評価します

【テキスト】

初回の授業で指示します

【参考文献】

Julius Caesar 大場建治注釈（大修館）
『シェイクスピア大辞典』荒井良雄他編集主幹（日本図書センター）

専門演習 I

担当教員 前澤 大樹

対象学年 3年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

【授業のねらい】

この授業では、専門演習IIと合わせて、英語という言語に関して自らが興味を覚える「疑問」を見付け、英語学領域で研究テーマとなるような問題設定を行うことを目標とする。前期は他の言語、とりわけ日本語との対照から、様々な側面で英語が持つ特徴に光を当て、統語論に於ける生成文法を中心に、言語理論の中で英語が示す特徴がどのような形で捉えられるのか概観する。後半は、幾つかの分野で英語に関する主要な問題を取り上げる。代表的分析を概説した文章をグループ毎に割り当て、内容をまとめた発表を求める。

【授業の展開計画】

*進行日程はあくまで目安であり、受講者の理解度・達成度や活動実施状況により、実施内容を含め予定を変更する場合がある。

週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、導入：対照の視点と英語の「特徴」
2	英語の諸特徴と言語理論
3	英語の諸特徴と言語学/英語学の下位領域(1)：音声学・音韻論、形態論他
4	英語の諸特徴と言語学/英語学の下位領域(2)：意味論、語用論他
5	英語統語論の導入的概説：扱う問題と複数の枠組み、日本語との対照
6	英語の主な統語的特性：生成文法による説明(1)
7	英語の主な統語的特性：生成文法による説明(2)
8	英語の主な統語的特性：生成文法による説明(3)
9	グループ発表の準備：論理構成の把握、まとめ方等
10	グループ発表と質疑・議論、補足解説(1)
11	グループ発表と質疑・議論、補足解説(2)
12	グループ発表と質疑・議論、補足解説(3)
13	グループ発表と質疑・議論、補足解説(4)
14	グループ発表と質疑・議論、補足解説(5)
15	まとめ
16	レポート提出

【履修上の注意事項】

1. 辞書は毎回必ず持参すること。
2. ほぼ毎回、何らかの課題を出すことになると思われるが、提出を求めない場合(次回までに読む・調べる・考えてくる等)も必ず実施すること。実施しなかった場合、翌週以降の活動に支障を来す可能性がある。
3. 積極的な姿勢で参加すること。

【評価方法】

(1) グループ発表：20% (2) レポート：40% (3) 提出課題：25% (4) 授業内活動の実施状況・授業への貢献度(発言・質問等)：15%
の配分で得点を計算し、評価を決定する。

【テキスト】

未定(初回授業時に告知予定)。

【参考文献】

必要に応じ、適宜紹介する。

専門演習Ⅱ

担当教員 李 イニッド

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

This course is designed to help students develop an awareness of the contemporary research on gesture and acquire the basic skills in observing and decoding gestures in interpersonal communication.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction/Review
2	Gestures studies; introduction; history; analysis
3	GS: structures: functions; classification; theories
4	Review of L2 GS: Acquisition of L2 emblems
5	Review of L2 GS: cognitive functions of gesture & SLA
6	Why do we gesture?
7	Research methods (1)
8	Research methods (2)
9	Research methods (3)
10	Projects (1)
11	Projects (2)
12	Projects (3)
13	Projects (4)
14	Projects (5)
15	Oral presentations (1)
16	Oral presentations (2)

【履修上の注意事項】

Students who enroll in this course must have taken 専門演習I from the same instructor.

【評価方法】

Attendance & class participation (50%). Term projects & oral presentation (50%).

【テキスト】

To be announced in class.

【参考文献】

To be announced in class.

専門演習Ⅱ

担当教員 前澤 大樹

対象学年 3年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

【授業のねらい】

専門演習Ⅰから引き続き、英語という言語に関して自らが興味を覚える「疑問」を見付け、英語学領域で研究テーマとなるような問題設定を行うことを目標とする。後期は視点を変え、疑問を提起する英語内部の事実として、語彙間・構文間の違いと現代英語と過去の英語の違いを取り上げ、特に前者が問題となり得る背景として、理論・分析の妥当性と説明の一般性についても論じる。以降は発表の準備として、従来の議論に基づいて研究を行う方法の基礎を学び、問題設定を試みる。もっとも口頭発表で求めるのは、論点と課題の整理までである。

【授業の展開計画】

*進行日程はあくまで目安であり、受講者の理解度・達成度や活動実施状況により、実施内容を含め予定を変更する場合がある。

週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、専門演習Ⅰの復習、導入：他の観点からの疑問
2	語彙間の比較・構文間の比較から生じる疑問
3	英語の通時的変化に関する疑問
4	分析間の比較と論点の整理(1)
5	分析間の比較と論点の整理(2)
6	課題解決の方策：必要な情報・着想の特定、利用できる手段
7	発表・レポートの構成と形式上の注意：まとめ方・意見の述べ方・文献の引用方法等
8	口頭発表の準備(1)：着想と問題設定、文献・資料の収集
9	口頭発表の準備(2)：論点の整理と課題の特定、必要な調査
10	口頭発表の準備(3)：考察と結論の導出、更なる課題
11	口頭発表(1)
12	口頭発表(2)
13	口頭発表(3)
14	口頭発表(4)
15	口頭発表(5)
16	レポート提出

【履修上の注意事項】

1. 辞書は毎回必ず持参すること。
2. ほぼ毎回、何らかの課題を出すことになると思われるが、提出を求めない場合(次回までに読む・調べる・考えてくる等)も必ず実施すること。実施しなかった場合、翌週以降の活動に支障を来す可能性がある。
3. 積極的な姿勢で参加すること。

【評価方法】

(1) 口頭発表：20% (2) レポート：40% (3) 提出課題：25% (4) 授業内活動の実施状況・授業への貢献度(発言・質問等)：15%
の配分で得点を計算し、評価を決定する。

【テキスト】

未定(初回授業時に告知予定)。

【参考文献】

必要に応じ、適宜紹介する。

専門演習Ⅱ

担当教員 野口 正樹

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

英語の『なぜ?』に答える形で講義を行います。例えば、動詞“go”の活用形は“go, went, gone”ですが、過去形の“went”だけ形が大きく違うのはなぜ? “Do you know him?”といった簡単な言い方があるのに、“Do you know who he is?”といった言い方を/出来るのはなぜ? “I think that 文.”を“I think 文.”と“that”を省いて表現するのはなぜ? “play baseball”なのに“play the violin”とするのは? そもそも、大文字と小文字があるのは? これらの疑問を解明しながら、英語全般に関する理解を深めていきます。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② presentation
- ③ 疑問解明度
- ④ 質疑応答・全体討論
- ⑤ task 評点
- ⑥ 受講姿勢
- ⑦ 中間・期末試験
- ⑧ term paper

【テキスト】

別途連絡します。

【参考文献】

別途連絡します。

専門演習Ⅱ

担当教員 西原 幹子

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期に引き続き、シェイクスピアの作品とその時代背景について学びます。後期はシェイクスピアの喜劇 A Midsummer Night's Dream『夏の夜の夢』を読みます。

【授業の展開計画】

- ・スケジュールの詳細については、初回の授業で通知します。
- ・場面全体の流れをつかむために訳本やビデオを参考にしながら、重要なセリフに関しては原文を精読します。
- ・いくつかのグループに分かれ、毎週担当を決めて発表してもらいます。
- ・指定されたテーマについて、学期末にレポートを提出してもらいます

【履修上の注意事項】

【評価方法】

学期末レポート、授業への貢献度を総合的に評価します

【テキスト】

初回の授業で指示します

【参考文献】

A Midsummer Night's Dream 石井正之助注釈（大修館）
『シェイクスピア大辞典』荒井良雄他編集主幹（日本図書センター）

専門演習Ⅱ

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

専門演習Ⅱ

担当教員 漆谷 克秀

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

専門演習Ⅰから継続して、受講生それぞれのテーマ設定、またグループでのテーマ設定、文献収集などにより、テーマの分析、考察、発表をおこなっていく。そのことで、ヨーロッパに関する幅広い知識を習得するをを目指す。

【授業の展開計画】

一週目の授業ガイダンスで、発表を中心に授業は展開することを示す。その授業の仕様は、受講生の数やテーマ設定による。

【履修上の注意事項】

専門演習Ⅰとおなじ。

【評価方法】

専門演習Ⅰとおなじ。

【テキスト】

専門演習Ⅰとおなじ。

【参考文献】

早期英語教育

担当教員 津波 聡

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

第2言語習得の理論や事例を基に、早期英語教育の概要を学びます。又、日本の早期英語教育、特に小学校英語活動の現状や課題について学習します。

【授業の展開計画】

前半はグループ発表やディスカッションを通して第二言語習得や早期英語教育について学習し、後半は小学校英語の現状や課題、基本的な指導技術についてワークショップ形式で学習し、グループ単位の模擬授業を行います。

【履修上の注意事項】

- (1) 座席はグループごとに座る
- (2) 無断欠席・遅刻をしない
(遅刻2回で欠席1回と見なします。1/3以上欠席の場合単位は認められません。)
- (3) グループ発表、ワークショップの前に課題図書を熟読しておく
- (4) 辞書持参

【評価方法】

- (1) 授業態度、クイズ、課題（グループ発表、ブックリポート）を総合的に評価します。

【テキスト】

【参考文献】

卒業論文 I

担当教員 里 麻奈美

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講では、各自が興味のある研究テーマを設定し、そのテーマにまつわる事実や見解を論理的かつ明確に伝える論文を書く事を目的とする。対象分野は、言語学・言語習得・外国語教育・異文化コミュニケーションなど、「ことば」「文化」「教育」に関するものであれば特に限定しない。一番重要なのは、「自分が面白いと思えるテーマを探し、研究する事」である。前期は資料収集や論文作成の基礎を再確認し、論文の概要などについて発表する。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

授業の受講態度・発表・課題などを総合的に評価する。

【テキスト】

講義内で適宜配布する。

【参考文献】

卒業論文 I

担当教員 津波 聡

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

研究論文に関する研究計画、データ収集・分析、論文執筆方法等について学習した後、トピックを決定し、文献ノート・研究概要を作成します。

【授業の展開計画】

- 4～5月 論文に関する講義、ディスカッション
- 5～6月 トピック決定、先行文献研究
- 6～7月 文献ノート作成
- 7～8月 研究概要作成

【履修上の注意事項】

- ① 無断欠席・遅刻をしない
(遅刻2回で欠席1回とみなします。3分の1以上欠席の場合単位は認められません。)
- ② 提出期限厳守

【評価方法】

授業態度(出席率、発言、積極性)、提出物を総合的に評価します。

【テキスト】

講義内で連絡します。

【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

卒業論文 I

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

Students will select a topic, have it approved by the instructor, gather materials, submit a research plan and begin writing on their graduation thesis during this class. Students should come to the first class prepared to discuss their topic with the instructor.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Introduction
2	Topic Selection, Research Plan
3	Research Methods, Sources, Bibliography
4	Plagiarism, Citations
5	Fieldwork and Individual Consultations
6	Submission of Research Plan
7	Return of Research Plan
8	Fieldwork and Individual Consultations
9	Fieldwork and Individual Consultations
10	Submission of Introductory Paragraphs
11	Return of Introductory Paragraphs
12	Submission of Introductory Paragraphs
13	Return of Introductory Paragraphs
14	Oral Report Preparation Day
15	Interim Oral Report
16	Interim Oral Report

【履修上の注意事項】

Students should note that papers for this course will be completed in English.

【評価方法】

Students will be evaluated based on their attendance, their ability to meet deadlines and the quality of their written work and oral presentation.

【テキスト】

Students will be expected to bring their course syllabus and all handouts to each class.

【参考文献】

The APA Publication Manual will be used as the standard reference for the graduation thesis.

卒業論文 I

担当教員 西原 幹子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

本講では、卒業論文作成のための基本的なルールや論の組み立て方について学びます。受講生各自の興味関心に応じてテーマを設定し、関連する文献・資料の読解を十分に行いつつ考察を深め、後期には卒業論文を完成させます。説得力のある文章を書くには、しっかりと読むことが重要です。そこで前期は、受講生各自でいくつか文献を選び、その内容についてレポートしてもらいます。同時に、論文テーマの絞り込みと、アウトラインの作成を行います。

【授業の展開計画】

4月～5月 各自の関心のある領域から文献をいくつか読み、レポートする。
6月 扱う作家や作品、テーマ領域を絞り込む。
7月 大まかなアウトラインをたて、実際に書き始める。
8月～9月 参考文献の収集とその整理

【履修上の注意事項】

イギリスの文化や文学をテーマに考えている学生の受講が望ましい

【評価方法】

授業への貢献度、発表、課題を総合的に評価する。

【テキスト】

プリントを配布する

【参考文献】

『論文の書き方』澤田昭夫著、講談社
『思考の整理学』外山滋比古著、筑摩書房
『論文の教室』戸田山和久著、NHKブックス

卒業論文 I

担当教員 尚 真貴子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

この演習と後期の卒業論文Ⅱでは、大学生活4年間の締めくくりとして明快で論理的な論文を書くことを目的とする。テーマについてはバイリンガル教育、第二言語習得、日英語比較など、言語教育・言語文化に関するものであればとくに限定しない。前期は、まず資料の収集方法、資料の読み方、論文の体裁、執筆方法など、論文作成の基本を再確認する。続いて、テーマ発表や論文の概要などについて発表する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストの読み合わせ（テーマ設定・資料収集・資料の読み方などについて）
3	テキストの読み合わせ（テーマ設定・資料収集・資料の読み方などについて）
4	テキストの読み合わせ（テーマ設定・資料収集・資料の読み方などについて）
5	個人発表（テーマ発表および収集文献紹介）
6	個人発表（テーマ発表および収集文献紹介）
7	個人発表（テーマ発表および収集文献紹介）
8	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
9	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
10	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
11	個人発表（主要先行文献の要旨発表および現段階での課題について）
12	個人発表（論文概要について）
13	個人発表（論文概要について）
14	個人発表（論文概要について）
15	個人発表（論文概要について）
16	まとめおよび夏季休暇中の作業日程の確認

【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻・無断欠席をしないこと
- (2) ゼミは学生中心なので積極的に参加すること
- (3) 提出物は締切を厳守すること
- (4) 教室では携帯電話の電源を切ること

【評価方法】

授業態度、発表内容、討議への貢献度、など総合的な観点から評価する。

【テキスト】

選定中

【参考文献】

各自の研究テーマに応じて適宜紹介する。

卒業論文 I

担当教員 ヒーター シブソン

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

The purpose of this class is to give students, either individually or in groups an opportunity to begin work on a creative graduation thesis project.

【授業の展開計画】

Initially, in groups, students will create a short presentation based on the work of a contemporary Okinawan artists (i.e. dancer, writer, performance artist, drama group). Then, either individually, or in groups, students will begin to develop a creative project. This could include, but is not limited to, short plays, installations, performance art, and creative writing. The creative use of language, and in particular Okinawan language varieties will be greatly encouraged.

【履修上の注意事項】

There is no strict language policy for this class, either in the creation of the project or its outcome. However, students will not be permitted to make a "skit," if this is defined as a trivial performance the purpose of which is simply to entertain.

【評価方法】

Assessment will be based on students' contributions to the project both in and out of class, and peer evaluation, perhaps by a democratically appointed group leader

【テキスト】

No text is required for this class.

【参考文献】

卒業論文 I

担当教員 新垣 實

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

卒業論文Ⅱ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期に続き、各自の研究テーマに沿って卒業論文を仕上げていく事を目的とする。後期はおおよそ書き上げた各自の論文について中間発表をする事から始める。その後、個別指導を通して論文を完成させる。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

講義の受講姿勢・発表・論文内容によって総合的に評価する。

【テキスト】

講義内で適宜配布する。

【参考文献】

卒業論文Ⅱ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

This course is a continuation of Graduation Thesis I. Students will be expected to have selected a topic, have it approved by the instructor, have written a research plan and begun writing on their thesis by the time of registration.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Registration and Course Introduction
2	Individual consultations
3	Submission of Body (minimum of 10 pages)
4	Return of draft
5	Submission of Full First Drafts
6	Return of Draft
7	Draft Submission
8	Return of Draft
9	Draft Submission
10	Return of Draft
11	Final Submission/Test
12	Oral Presentations
13	Oral Presentations
14	Oral Presentations
15	Oral Presentations
16	Oral Presentations

【履修上の注意事項】

Students should note that papers for this course will be completed in English.

【評価方法】

Students will be evaluated based on their attendance, their ability to meet deadlines and the quality of their graduation thesis and oral presentation.

【テキスト】

Students will be expected to bring their course syllabus and all handouts to each class.

【参考文献】

The APA Publication Manual will be used as the standard reference for the graduation thesis.

卒業論文Ⅱ

担当教員 尚 真貴子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

前期の卒業論文Ⅰに引き続き、卒業論文をまとめあげていくことを目的とする。後期は夏季休暇中におおよそ書き上げた各自の論文について中間発表をすることから始める。発表する時は、レジュメ、参考文献リストおよび資料を準備し、ゼミのメンバー全員に配布する。この段階で論文の体裁、参考文献リストの様式などについて再度チェックする。あわせて、発表後の討議と講評を参考に論文をよりよい内容にまとめていく。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	中間発表（討議および講評）
3	中間発表（討議および講評）
4	中間発表（討議および講評）
5	中間発表（討議および講評）
6	中間発表をうけての個人面談および指導
7	中間発表をうけての個人面談および指導
8	中間発表をうけての個人面談および指導
9	中間発表をうけての個人面談および指導
10	中間発表をうけての個人面談および指導
11	下書き原稿提出
12	下書き原稿返却、加筆修正
13	下書き原稿加筆修正
14	最終原稿提出
15	論文最終発表会（学外ゼミ）
16	卒業論文集作成

【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) ゼミは学生中心なので積極的に参加すること
- (3) 提出物は締切を厳守すること
- (4) 教室では携帯電話の電源を切ること

【評価方法】

授業態度、発表内容、討議への貢献度、卒業論文の内容、など総合的な観点から評価する。

【テキスト】

適宜プリントを配布する。

【参考文献】

各自の研究テーマに応じて適宜紹介する。

卒業論文Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

卒業論文Ⅱ

担当教員 ヒーター シブソン

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

The purpose of this class is for students to complete the creative project they began in the first semester, share it with the public, and write a report explaining the history and purpose of their project.

【授業の展開計画】

Students will complete the creative project they began in the first semester and either display or perform it in front of an audience, either at the university festival or some other forum. They will then write an extended report in English (1,000-1,500) explaining the history and rationale behind the project, and their reflections on creating it.

【履修上の注意事項】

There is no strict language policy for this class, either in the creation of the project or its outcome. However, students will not be permitted to make a "skit," if this is defined as a trivial performance the purpose of which is simply to entertain.

【評価方法】

Assessment will be based on students' contributions to the project both in and out of class, and peer evaluation, perhaps by a democratically appointed group leader

【テキスト】

No text book is required for this class.

【参考文献】

卒業論文Ⅱ

担当教員 西原 幹子

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

後期は実際の執筆作業を通して、論理構成の方法や論文作成上のルールについて学ぶ。

【授業の展開計画】

後期はじめに中間発表を行い、その後は個別指導が中心となる。

10月 各自の論文の中間報告

11月～12月 個別指導

12月半ば 完成論文の提出

1月 論文の手直しと再提出

【履修上の注意事項】

論文提出の締切りは厳守すること

【評価方法】

授業への貢献度、発表、論文内容によって総合的に判断する

【テキスト】

プリントを配布します

【参考文献】

『論文の書き方』澤田昭夫著、講談社

『思考の整理学』外山滋比古著、筑摩書房

『論文の教室』戸田山和久著、NHKブックス

卒業論文Ⅱ

担当教員 津波 聡

対象学年 4年

単位区分 必

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

先行論文研究、データ収集・分析、論文を執筆を行い、発表会において研究内容を報告する。

【授業の展開計画】

10～11月 1st draft作成

11～12月 2nd draft作成

1～2月 卒論研究発表会

【履修上の注意事項】

- ① 全体指導、個別指導の祭は無断欠席・遅刻をしない
(遅刻2回で欠席1回と見なします。3分の1以上の欠席は単位が認められません。)
- ② 提出期限厳守

【評価方法】

出席状況、論文内容、発表、提出期限を総合的に評価します。

【テキスト】

講義内で適宜配布します。

【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

多文化コミュニケーション論

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 4年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

This will be a lecture style class with the odd break for discussion of themes that have been explored. The class will be taught in English. The student should be prepared to speak his or her opinion on the topics that arise. This will be a challenging class with many opportunities to get deeper into the concept of culture.

【授業の展開計画】

We shall follow the contents of the assigned textbook. All students MUST purchase a copy by the third class. Some of the topics covered will be Education: values and expectations, Work Practices and Attitudes, Family types and traditions.

【履修上の注意事項】

【評価方法】

Attendance, Participation, four essay tests and a final paper will get towards grades in this class.

【テキスト】

Beyond Language Cross Cultural Communication. Deena Levine Mara B. Adelman
Longman 3, 550Y

【参考文献】

Discussion Skills

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

The goal of this class is to enhance and develop student's discussion skills by giving them a forum in which to use and improve them. Various types of discussion will be analyzed and effectuated. With close attention being paid to appropriate language for different settings. Please note that this class will be conducted entirely in English.

【授業の展開計画】

We shall be working through the assigned textbook from the third meeting onwards.

【履修上の注意事項】

As this is an English Discussion Skills class, the prospective student should note that using Japanese in the classroom will result in a reduced grade. We simply can't improve our English if we speak Japanese.

【評価方法】

60% of this class grade will be earned in the class during the semester. A detailed breakdown will be provided on the first day of classes. 40 % will come from two oral performances

【テキスト】

Details of the text will be given on the first day of class.

【参考文献】

Debate

担当教員 ーロビンソン サイモン

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

Students will learn to debate: they will learn to give a strong opinion and to answer opposing opinions with detailed reasoning and examples.

【授業の展開計画】

週	授業の内容	週	授業の内容
1	Introducing debate	17	Learning English 5
2	Part-time jobs 1	18	Learning English 6 - debate
3	Part-time jobs 2	19	Free schools 1
4	Part-time jobs 3	20	Free schools 2
5	Part-time jobs 4	21	Free schools 3
6	Part-time jobs 5 - Debate	22	Free schools 4
7	Driving 1	23	Free schools 5
8	Driving 2	24	Free schools 6 - debate
9	Driving 3	25	Alcohol 1
10	Driving 4	26	Alcohol 2
11	Driving 5	27	Alcohol 3 - debat
12	Driving 6 - debate	28	Exam preparation1
13	Learning English 1	29	Exam preparation 2
14	Learning English 2	30	Exam practice
15	Learning English 3	31	Exam
16	Learning English 4		

【履修上の注意事項】

【評価方法】

Students will be assessed on their attendance, participation in classroom activities, and on their performance in a final exam in which they will debate with me.

【テキスト】

There is no textbook for this course - all material will be created by the students and teacher working together in class.

【参考文献】

同時通訳

担当教員 島袋 美智子

対象学年 3年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

通訳者の心構え、訓練メソッドの説明を行う。リスニング強化、英語要約を行う。音読重視。逐次通訳及び同じテキストを用いてサイトラ、同時通訳の基礎訓練を行う。プロ通訳のパフォーマンス観る。ペアワークについて学ぶ。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	通訳について、訓練メニュー、単語増強の必要性、リスニング強化について
2	テキスト1：シャドーイング、英語要約、逐次通訳、ノートテイキング
3	テキスト2：英語のインタビューを聞いて英語で要約を行う。新聞英語のサイトラを行う。
4	テキスト2：同じテキストでメモ、逐次通訳を行う。プロの通訳をテープやDVDで聞く。
5	テキスト2：同じテキストでサイトラ、同時通訳練習、ペアでプレゼンを行う。
6	テキスト3：数字の英語を聞いて通訳用メモを取り、日本語でアウトプットする。
7	テキスト4：映画の記者会見とプロの逐次通訳を聞く。通訳分析を行う（レポート提出用）
8	テキスト4：英語の記事を用いて日本語へのサイトラ・トランスレーションの練習
9	テキスト5：日本語のスピーチを聞いて英語での要約を行う。逐次、同時通訳の訓練を行う。
10	テキスト5：同じテキストでサイトラ、同時通訳練習、プレゼンを行う（ペアで）
11	テキスト6：英語のスピーチを聞いて要約をする。メモ、逐次通訳を行う。
12	テキスト7：日本語のエッセイを聞いて英語で要約、メモ取りのプレゼンを行い、逐次通訳。
13	テキスト7：同じテキストでサイトラ、同時通訳練習、プレゼン（ペアワーク）
14	期末テストのリハーサル：PC録音のため、一度リハーサルを行う。
15	期末テストは通訳実技テストを録音し評価する（同時通訳 英日1、日英1 予定）
16	

【履修上の注意事項】

遅刻は原則として認めない。理由如何により4分まで認めるがそれ以降は欠席扱いとする。オリエンテーションはメソッドの説明を行います。必須ですので最初の授業日をミスしないこと。スピーチ、音声ファイル録音用の記録メディアを携帯して下さい。クラス毎に課題があります。リスニング、シャドーイング、サイトラ（頭からの訳出）などの予習が必要です。出席を最重要視しますのでなるべく休まないようにして下さい。

【評価方法】

1. 学期の終了時に通訳実技テストを行う（成績は5段階で評価。3以上が講座を修了することができる）
2. 出席に関しては全クラスのうち三分の二以上を修了の条件とする。出席を重視する。
3. 課題として「プロ通訳パフォーマンス分析」のレポートを提出する。

【テキスト】

1. 「超音読レッスン・世界の名スピーチ編」鹿野晴夫著 IBCパブリッシング出版 2,000円程
2. 講師の編集する自主テキスト（新聞記事、online記事、スピーチ及びインタビューテキスト、DVD など）

【参考文献】

1. 「トレンド日米表現辞典」小学館 03-3230-5745
2. 電子辞書（少なくとも20万語以上の英語辞書、広辞苑）
3. 通訳翻訳ジャーナル
4. 英語字幕つきのシネマ

日英語比較研究

担当教員 里 麻奈美

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

この講義では日本語と英語の比較を通して、表現方法から見える「物事の考え方や捉え方」、文化的背景に由来する「発想や価値観」などの共通点や相違点を学ぶ。映画やドラマ・ことわざ・日常会話など、身近な材料を用いた日本語と英語の比較研究から、日本人学習者が英語を学習する際に役立つアプローチ方法を探る。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

テキスト購入の必要なし。
講義内で適宜配布する。

【参考文献】

日本語現代文法 I

担当教員 里 麻奈美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

みなさんは自分の話していることば、「日本語」を知っていますか？もちろん話しているのだから知っていると思うかもしれませんが、「話せる」と「ことばを知る」とは異なるものです。日本語を学習している友人に「どうして”頂上を登った”は間違いなの？」と聞かれたら説明できますか？”楽しく暮らす”は言えるのに、”楽しく住む”とは言えないのはどうしてでしょう？このクラスでは、日本語学習者の人が『？』と思う日本語の使い方について、日本語文法の側面から学んでいこうと思います。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

- 出席状況, 受講姿勢 30%
 - *ただし, 5回クラスを欠席した時点で不可とし, 中間テストおよび期末テストは受けられない事とする。
 - 中間テスト 30%
 - 期末テスト 40%
- などから総合的に判断する。

【テキスト】

講義内で適宜配布。
テキストの購入なし。

【参考文献】

日本語現代文法Ⅱ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

みなさんは自分の話していることば、「日本語」を知っていますか？もちろん話しているのだから知っていると思うかもしれませんが、「話せる」と「ことばを知る」とは異なるものです。テレビからの1コマ、バイトでの会話など、身近な例をとりながら日本語の文法や使用方法について考えていきたいと思います。前期を受講していない方でも、学べる様な講義形態になっています。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	シラバス, 「日本語現代文法とは？」
2	「夏休み, 石垣とか行って～」(注) 行ったのは石垣のみ 【『～とか』って何？】
3	「私は苺タルトです」 【特別な『AはBだ』文】
4	「英米の里です」「私は英米の里です」「私が英米の里です」 【『は』と『が』の違いって？】
5	「そんなに飲めるなんて, 肝臓がお強いようですね」 【正しいようで間違っている敬語】
6	「お茶, おビール, おケーキ, お便所？」 【知っておきたい敬語の色々】
7	講義+中間テストの復習
8	中間テスト
9	「そんなお下品なお遊び, 知らなくてよ！」【男ことば・女ことばからみるステレオタイプ】
10	「『シカとする』は花札が語源って知ってた？」【ことばの由来と隠語】
11	「cu b4 zzzz. WDYT?」これって何？ 【造語・若者ことば・メールことば】
12	「旅行中, 犬にえさをやってあげようか？」はどうして愛犬家を怒らせるの？【授受表現と視点】
13	「旅行中, 犬にえさをやってあげようか？」はどうして愛犬家を怒らせるの？【授受表現と視点】
14	「『自分, 不器用ですから。。。』の高倉健は外国人の目にはどう移るの？」【プラグマティクス】
15	講義+期末テストレビュー
16	期末テスト

【履修上の注意事項】

【評価方法】

- 出席状況, 受講姿勢 30%
 - *ただし, 5回クラスを欠席した時点で不可とし, 中間テストおよび期末テストは受けられない事とする。
 - 中間テスト 30%
 - 期末テスト 40%
- などから総合的に判断する。

【テキスト】

講義内で適宜紹介する。
テキスト購入の必要はなし。

【参考文献】

日本語表現法演習 I

担当教員 元山 由美子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

ピア活動（仲間同士が話し合いを通じて協力的に学びとる学習活動）を通して、レポートの作成方法や議論の仕方などを学びます。情報の収集や分類、検討を行い、立場を明確にし、論理的に文章を展開する論証型のレポートを完成させることをめざします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション 1課 この授業で何を学ぶかを知る
2	1課 レポートとは何か 2課 レポートの形を知り、アイデアを練る
3	2課 レポートのテーマを考える
4	図書館での情報収集法
5	3課 構想を練り、情報を調べる
6	4課 テーマを絞り込み、目標を規定する
7	5課 文章を組み立てる 文章の構成を知り、文章展開のパターンを知る
8	5課 文章を組み立てる アウトラインの作成
9	6課 組み立てを再検討する
10	7課 パラグラフを書く
11	論文を書くための基礎力養成
12	8課 本文を書き込んでいく
13	9課 引用しながら書く
14	10課 文章・表現・形式を点検する
15	13課 学んだことを振り返る
16	レポート提出&まとめ

【履修上の注意事項】

クラスの他の仲間と文章を読みあい、意見を交換するピア・レスポンス方式で授業を進めますので、毎回出席でき、自分の意見を持って積極的に参加できる学生を希望します。毎回提出シートへの記入が義務づけられます。1組と2組は同じ内容で行うので、人数の調整をすることがあります。

【評価方法】

毎回の活動、提出シート、レポートで総合的に評価します。

【テキスト】

大島弥生他 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現「第2版」 プロセス重視のレポート作成』 ひつじ書房

【参考文献】

木下是雄 『レポートの組み立て方』 ちくまライブラリー他

日本語表現法演習 I

担当教員 一ケリ 綾子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

ピア活動（仲間同士が話し合いを通じて協力的に学びとる方法）を通してレポートの作成方法、議論の仕方を学びます。情報の収集法、分類、検討を行い、立場を明確にし、論理的に文章を展開する論証型のレポートを完成させることをめざします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション 1課 この授業で何を学ぶかを知る
2	1課 レポートとは何か 2課 レポートの形を知り、アイデアを練る
3	2課 小論文を使ってピア活動 レポートのテーマ
4	図書館での情報収集法
5	2課 課題レポートの形を知る 3課 構想を練り、情報を調べる 仮テーマについて話し合う
6	4課 テーマを絞り込み、目標を規定する
7	4課 目標を規定する 5課 文章を組み立てる 序論・本論・結論
8	5課 文章を組み立てる アウトライン作成 序論を書き始める
9	6課 組み立てを再検討する アウトラインを検討する ピア・レスポンス
10	7課 パラグラフを書く① 本論 主張を書く
11	7課 パラグラフを書く② 論文を書く為の力養成
12	8課 本文を書き込んでいく ピア活動
13	9課 引用しながら書く 参考文献の書き方
14	10課 文章・表現・形式を点検する レポート全体を振り返る 第一稿 ピア・レスポンス
15	13課 学んだことを振り返る 第二稿 ピア・レスポンス
16	レポート提出とまとめ

【履修上の注意事項】

ピア活動をしながら講義を進めますので、毎回出席でき、参加型の講義に積極的に活動しようという意欲のある学生は是非受講してください。教科書にある情報を講義の前までに読んでおく必要があります。また、毎回提出シートへの記入が義務づけられます。レポートを書くための力を本気で付けたいと、意欲的に学ぶ学生の受講を歓迎します。尚、1組と2組は同じ内容で行うので人数調整をすることがあります。5回以上の欠席者には単位を与えません。

【評価方法】

毎回の活動(30%)、提出シート(20%)、宿題(20%)、レポート(30%)にて判定

【テキスト】

『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版 プロセス重視のレポート作成』大島弥生他 ひつじ書房

【参考文献】

適宜指示します。

日本語表現法演習Ⅱ

担当教員 元山 由美子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

ことばはコミュニケーションの重要な道具です。母語運用能力や表現センスは、外国を習得するために土台となります。そのためには、母語を正確に、効果的に使用することが必要です。この授業は、日本語を意識することと日本語表現能力の向上を目的とします。後期は、書く、調べる、発表するなどのアカデミック・スキルのトレーニングをします。具体的には、普段の生活の中で気になっている日本語について、グループごとに実態調査を行い、発表をします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション プロジェクトワークの目的
2	自分の日本語を振り返る ウチナーヤマトウグチ
3	敬語、メール文
4	プロジェクトワークについて グループ分け、トピック決定
5	プロジェクトワーク(1) アンケートの質問事項の作成方法
6	プロジェクトワーク(2) アンケートの質問事項完成
7	プロジェクトワーク(3) アンケートの項目別に予測をたてる
8	プロジェクトワーク(4) アンケートの集計、考察
9	プロジェクトワーク(5) 発表準備、発表資料作成
10	発表練習 各グループで口頭練習
11	発表(1)
12	発表(2)
13	発表(3)
14	発表(4)
15	発表(5)
16	まとめ

【履修上の注意事項】

グループで日本語に関するテーマで、アンケートを作成し、調査後に口頭発表を行います。日本語に興味のある学生、積極的に課題に取り組み、発表力をつけたい学生の受講を期待します。

【評価方法】

授業参加度、課題の提出、発表などから、総合的に評価します。

【テキスト】

ハンドアウトを使用します。

【参考文献】

適宜紹介します。

日本語表現法演習Ⅱ

担当教員 -ケリ 綾子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

言葉はコミュニケーションの重要な道具です。母語運用能力や表現センスは、外国語を習得するための土台となります。そのためには母語を正確に効果的に使用することが必要です。この授業では、日本語を意識することと、日本語表現能力の向上させることを目的とします。具体的には「日本語表現法演習Ⅰ」を踏まえ、普段の生活の中で気になっている日本語についてグループごとに実態調査をし、発表します。そして、まとめのレポートを作成します。調査の仕方、発表の仕方を学び実践します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション プロジェクトワークの目的
2	ウチナーヤマトゥグチ復習 文体、文章の書き方
3	プロジェクトワークについて グループ分け、トピック決定
4	プロジェクトワーク (1) アンケート質問事項作成
5	プロジェクトワーク (2) クラス内で試しアンケート
6	プロジェクトワーク (3) アンケート項目別に予測をたてる
7	プロジェクトワーク (4) アンケート集計、考察
8	プロジェクトワーク (5) 発表準備、レジュメ、発表資料作成
9	プロジェクトワーク (6) 発表準備物確認 発表時の質問の仕方
10	発表リハーサル 各グループで口頭練習
11	発表 (1) 質問実践、発表から学ぶ
12	発表 (2)
13	発表 (3)
14	発表 (4)
15	発表 (5)
16	振り返り、まとめ

【履修上の注意事項】

日本語に関するテーマで、グループでアンケート調査をし、口頭発表を行います。活動がグループ単位で行われるため、協力して進める必要があります。1時限目の講義ですが全出席しようという強い意志を持って受講する必要があります。日本語に興味のある学生、積極的に教室活動に参加し発表力を付けたい学生の受講を期待します。

5回以上欠席した学生には単位を与えません。

【評価方法】

- ・クラス活動 40%
- ・発表 20%
- ・レポート 30% (グループ20%、個人10%)
- ・発表に対する質問 10%

【テキスト】

ハンドアウトを使用します。教室にて配布します。

【参考文献】

適宜指示します。

Public Speaking

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

ビジネス英語

担当教員 ケイト オカラハン

対象学年 2年

単位区分 選必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

The students attending this class will be introduced to various facets of the world of international business. From product inception to international marketing and all the steps in between. This will be an active, fast moving, challenging class. Students must be prepared for the lessons by doing research outside the classroom before every class.

【授業の展開計画】

While the basis of the class will follow the text structure, extra work will be required of the students every week before the next meeting. The students will need to bring the extra research into class every week.

【履修上の注意事項】

【評価方法】

The students will earn their grades through active participation (bringing the required research to class every week to use), evaluated group role play, presentations and attendance. A detailed breakdown will be distributed on the first day of class.

【テキスト】

Widgets,
Pearson Longman publishers

【参考文献】

ビジネス英語

担当教員 島袋 美智子

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

【授業のねらい】

ビジネスのシーンに必要な英語表現を学びます。テキストを用いて発音、シャドーイングを行います。発声を重視しますので必ず英語を口に出して下さい。英語名刺作成、英文履歴書、Eメールの書き方を練習し、商品開発プレゼン、ビジネストリップ計画、請求書作成などビジネスに必要な事項をペア、グループで学びます。ビジネス起業を想定して企画を行いグループでのプレゼンも予定しています。

【授業の展開計画】

以下はタスクとして、またはテキストを使用してやる予定です。

- 1 英語名刺、英語履歴書を作成する
- 2 Eメールの書き方を学ぶ
- 3 商品開発をグループで行いプレゼンする
- 4 ビジネストリップの通信手段
- 5 取引相手に会う
- 6 海外出張の旅程作成、請求書の作成
- 7 飛行機での出張、予約などウェブで検索する
- 8 ホテルの予約など
- 9 電話の英語、数字の聞き取りの訓練を行う
- 10 ビジネス起業想定を行い企画しプレゼンを行う

【履修上の注意事項】

遅刻は原則として認めません。理由如何により4分まで認めますが、それ以降は欠席扱いとします。クラス毎に課題があり、テキストCDのリスニング、シャドーイング、内容把握の予習が必要と考えて下さい。出席を重視しますので、なるべく休まないようにして下さい。私語は極力抑えるようにして下さい。

【評価方法】

1. 学期末にテストを実施する（成績は100%の内60%以上が講座を修了することができる）。
2. 出席に関しては全クラスのうち四分の一以上の欠席がある場合は履修を認めない。出席重視。
3. プレゼンテーション、グループワーク、ペアワークへの積極的参加を重視する。
4. タスク提出物の期限内提出、評価（タスクは全提出を評価の最低条件とする）
5. 最終評価は、上記1から4までを見て総合的に判断する

【テキスト】

「英会話ペラペラビジネス100 (CD2枚付)」 スティーブソレイシイ著 アルク出版 2,160円程

【参考文献】

Web sites で情報収集。The Wall Street Journalなどのニュースサイトで情報収集、語彙力アップ。

Pronunciation Workshop

担当教員 李 イニッド

対象学年 2年

単位区分 選必

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

This lecture-lab course provides intensive training in recognition and reproduction of English speech. As well as learning all aspects of English pronunciation including individual sounds, accent, rhythm, connected speech, reduction, phrasing and intonation, students will develop listening and speaking skills through both receptive and productive practice.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	Vowels (1)
3	Vowels (2)
4	Vowels (3)
5	Review; Quiz I
6	Consonants (1)
7	Consonants (2)
8	Consonants (3)
9	Review; Quiz II
10	Accent & Rhythm
11	Liasion
12	Reduction
13	Review; Quiz III
14	Phrasing
15	Intonation
16	Review; Quiz IV

【履修上の注意事項】

No particular requirements.

【評価方法】

Attendance & class participation (50%), Quizzes (50%)

【テキスト】

To be announced in class.

【参考文献】

Pronunciation Workshop

担当教員 里 麻奈美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

単語も文法もあっているはずなのに何故か英語が通じない。。。こんな『ジレンマ』感じた事はありませんか？このクラスでは、「英語の発音が上手になりたい」と願うみなさんに、①英語の音を正しく発音するためには「唇、舌、歯」をどのように使えばいいのか、②連続する単語を発音する時どうしたらネイティブの様に聞こえるのか、③音の脱落やイントネーションの重要性などについて、音楽、映画、早口言葉、物語などの教材を使いながら学んでいただきたいと思います。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

- 出席状況, 受講姿勢 40%
(ただし, 10回クラスを欠席した時点で不可とする)
- クイズ3回 60%
などから総合的に判断する.

【テキスト】

クラス内で適宜配布する。
テキストの購入はなし。

【参考文献】

翻訳研究

担当教員 ダグラス トライカット

対象学年 3年

単位区分 選必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

このクラスでは、本格的な和-英、英-和翻訳を挑戦する。特に英文を日本語に翻訳することに重点をおいて行う。また、翻訳においての専門的な知識と、翻訳家に必要とされる技術を学んで行くことを目的とする。

【授業の展開計画】

翻訳家が直面する様々な問題に関する学説、理論、方法論をいろいろな観点から討論する。課題の題材は様々なタイプを利用する。

- 1 講義内容と方法の説明、翻訳紹介
- 2 翻訳の種類、依頼者のニーズ、翻訳家の仕事、簡潔な翻訳
- 3 課題1 レシピ
- 4 道具、辞書、ウェブサイト、本格構成、TMソフトウェア
- 5 課題2 履歴書
- 6 課題3 ユーモアテキスト
- 7 課題4 広告テキスト
- 8 課題5 ビジネス通信
- 9 課題6 ビジネス通信
- 10 課題7 テクニカルテキスト
- 11 課題8 テクニカルテキスト
- 12 グループ活動 映像のせりふ
- 13 グループ活動
- 14 グループ活動
- 15 吹き替え版の録音
- 16 吹き替え版の録音 / 公開

【履修上の注意事項】

この講義は高い英語読解力を期待する。オンライン翻訳サイトを使用する場合もあるが、原則として翻訳サイトを使用禁止にする。使用禁止の課題に翻訳サイトを使った場合、盗用とみなす。同様にクラスメートの翻訳文をコピーした場合、盗用とみなす。

【評価方法】

評価は、講義での課題提出は15%、宿題は35%、グループ発表は25%、ポートフォリオの提出は25%。

【テキスト】

課題の資料を授業で配布する。

【参考文献】

- ・安西徹雄. 英文翻訳術. 筑摩書房. 1995
- ・安西徹雄. 翻訳英文法—訳し方のルール. 筑摩書房. 2008
- ・田辺希久子. 英日英 プロが教える基礎からの翻訳スキル. 三修社. 2008